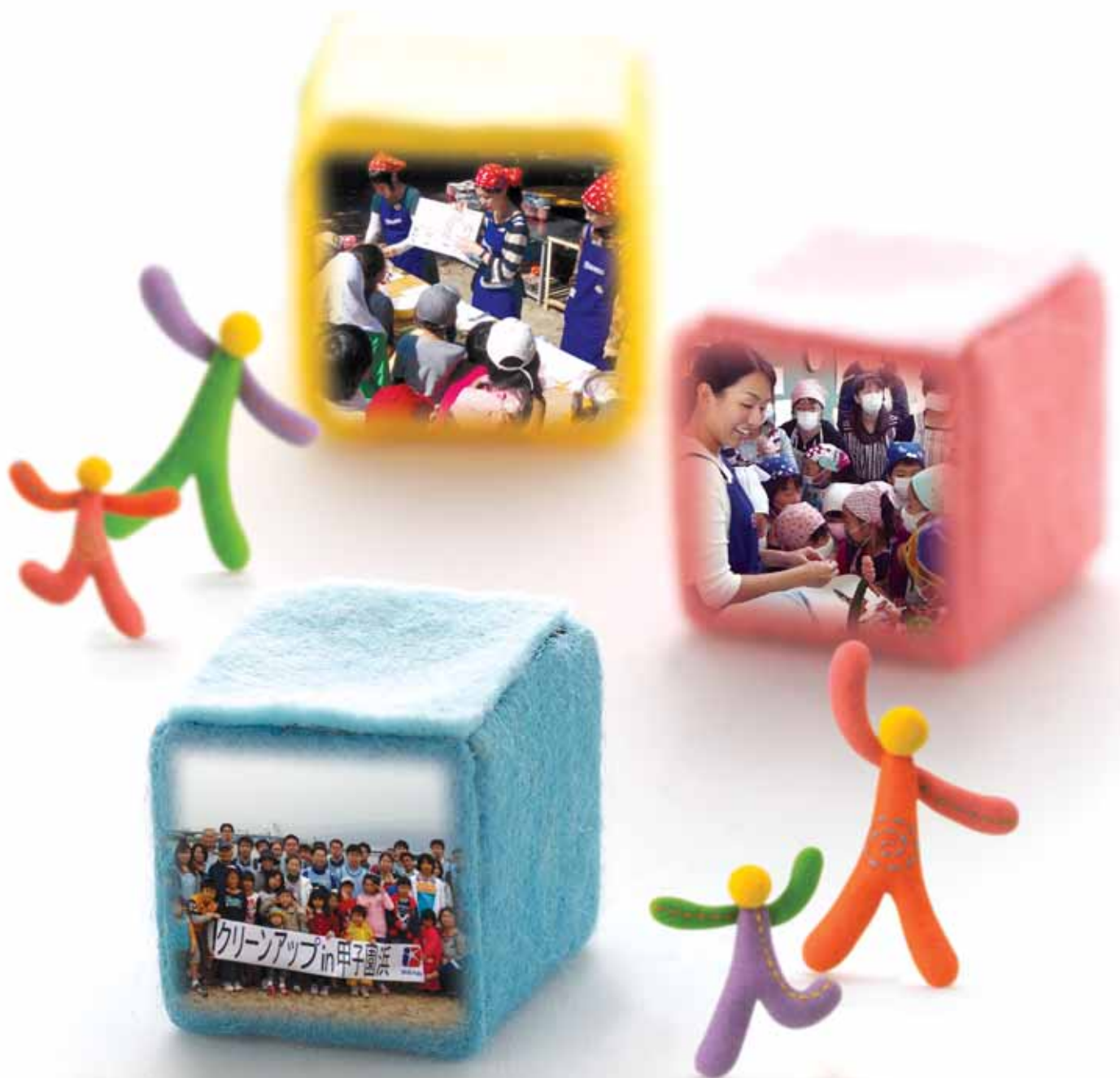


伊藤ハムグループ
2011年 CSR報告書
Ito Ham Group Corporate Social Responsibility Report

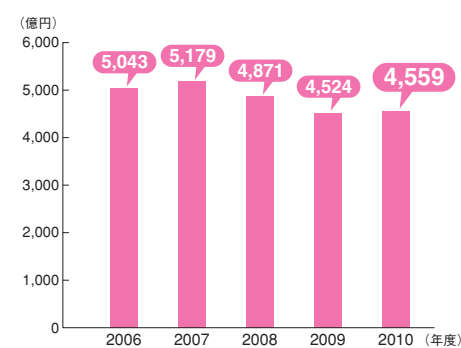


会社概要 (2011年3月現在)

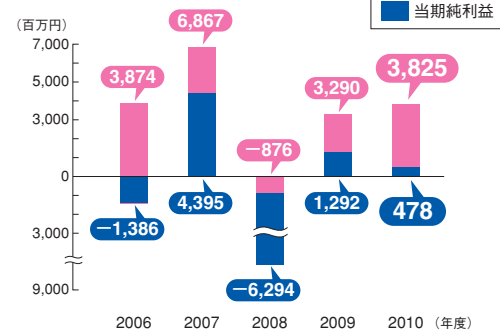
会社名	伊藤ハム株式会社
設立	1948年(昭和23年)
創業	1928年(昭和3年)
本社事務所	兵庫県西宮市高畑町4番27号
代表者	代表取締役社長 堀尾 守
資本金	284億2,700万円
売上高	4,559億8,900万円(連結)
連結対象会社	連結子会社 30社 持分法適用関連会社 12社
従業員数	2,367人(連結:5,871人)
主な事業	● 食肉加工品の製造および販売 ● 食肉の加工および販売 ● 調理加工食品、惣菜類の製造および販売 など

業績(連結)

■売上高の推移



■経常利益/当期純利益の推移



「2011年 CSR報告書」について

編集方針

伊藤ハムでは2000年から「環境報告書」を発行し、今年で12回目の発行となります。2005年からは社会的側面の記述を充実させて「社会・環境報告書」として発行し、2008年から「企業の社会的責任」(Corporate Social Responsibility)に対する弊社の取り組みを皆様にご報告する内容に改めて、タイトルを「CSR報告書」としました。

今回の報告書では、2010年度のCSR活動の報告を主な内容として、「お客様」「株主・投資家様」「地域社会」「従業員」など多様なステークホルダーの皆様に対して、分かりやすくお伝えするために、より簡潔な表現、親しみやすいデザインを心がけました。開示すべき事項で優先度の高いものや皆様の関心が高いと思われるものを掲載し、サイトごとの詳細データ等については、Webサイト(弊社ホームページ)に掲載します。

■伊藤ハムホームページ:
<http://www.itoham.co.jp>

対象範囲など

◇報告対象組織

基本的には伊藤ハムグループの取り組みを報告していますが、一部の報告では伊藤ハム株式会社、もしくは弊社およびグループの生産工場に限定している場合もあります。

また、伊藤ハム(株)九州工場は伊藤ハムウエスト(株)九州工場に、伊藤ハム食品(株)小矢部工場は伊藤ハムデイリー(株)北陸工場に、2011年10月1日をもって社名および工場名を変更しましたが、当報告書では、原則として2011年3月末時点の旧名称で記載しています。

◇報告対象分野

伊藤ハムグループが取り組みを行う社会的活動および環境保全活動

◇対象期間

基本的には2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日)の取り組みを報告していますが、一部では2010年度以前、以降についても報告しています。

◇参考にしたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版および2007年度版)」
GRI「サステナビリティレポートガイドライン2006」

※「環境保全活動」の事業所写真は、原則として伊藤ハム(株)のものを掲載しています。関連会社の事業所を掲載した場合は、注釈に当該社名および事業所名を記載しました。

I N D E X

1 会社概要
「2011年 CSR報告書」について

トップ
コミットメント

3 ごあいさつ

マネジメント

5 社是、経営方針
6 コンプライアンス

消費者の
皆様とともに

9 安全・安心への取り組み
10 お客様の声の反映
11 食育

株主・
投資家様
とともに

13 企業情報開示・IR活動
開かれた株主総会を目指して
株主優待制度

社会貢献
活動

14 社会貢献活動の取り組み
15 ユニセフ支援活動/ボランティア支援活動
16 自然環境保護活動/地域社会貢献活動

従業員
とともに

17 人材の育成・雇用
18 労働安全衛生/健康管理

環境保全
活動

19 環境宣言(基本理念、行動指針)
20 環境負荷の全体像
21 第4次中期環境目標の取り組み結果と自己評価
23 2010年度の活動ハイライト
24 マネジメント
26 環境負荷低減の取り組み
30 生物多様性保存への取り組み
31 環境情報開示
32 従業員教育・地域とのコミュニケーション
33 環境会計
34 環境データ
38 環境保全活動の沿革

「食」を担う企業として 社会から信頼され続けるために

代表取締役社長

堀尾 守



被災地の復興に向けて

2011年3月11日に発生いたしました東日本大震災で被災されました皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

伊藤ハムグループでは、緊急支援物資としてミートボール等の製品の提供、スマイルキャラバン号※による炊き出し活動を実施、また、被災されました方々の救援活動および被災地の復興等に少しでも役立てていただくため、義援金として5,689万7,378円を寄付いたしました。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

※スマイルキャラバン号：通常は全国の幼稚園等を訪問し、お子様やその保護者の方への食育活動を行っています。被災地支援のために東北地区に派遣しました。電源装置や冷蔵庫・調理施設を搭載しています。

「コンプライアンス」は最重要

伊藤ハムグループは、1928年の創業以来「事業を通じて社会に奉仕する」の社是のもと、皆様の健康にとって大切な動物性タンパク質である食肉や食肉加工食品をお届けすることによって、食生活の向上に貢献してまいりました。また、「食」を担う企業として社会から信頼され続けるために、コンプライアンス体制をより充実させて経営品質を高めるとともに、地球環境への配慮、社会貢献活動や食育活動などの分野においても、社会の一員として責務を果たすべく積極的に活動しております。

さて、近年のお客様のライフスタイルは大きく変化し、そのニーズは多様化しております。今後、国内の少子

高齢化の加速、および中国を中心とするアジア諸国から流入する人・物・金・情報による競争激化、すなわちボーダーレス化も進み、縮小する国内市場でのシェア争いが今後さらに熾烈になることが想定される状況です。このような状況下、“アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーを目指す”という経営ビジョンのもと、中期経営方針を定め、ブランド力とコスト競争力の強化に向けて取り組んでまいります。

その中期経営方針の第一に「コンプライアンス体制の更なる充実」を掲げました。これは「コンプライアンスは経営の根幹を成す考え方で、最重要事項である」ということを再認識し、コンプライアンス体制をはじめとするグループ内の種々の管理体制を充実させて、経営のレベルを向上させることを意図しております。伊藤ハムグループはCSR本部が中核となってコンプライアンスを推進していますが、第三者の目でCSR体制をチェックし、その結果を取締役会に提言する「CSR委員会」、各部署でのコンプライアンスに関する課題や問題をグループ全社で共有し、改善策を定める「コンプライアンス責任者会議」、さらには「草の根レベル」からのコンプライアンス強化策のひとつとして、全国の若手社員の中から192名のコンプライアンス委員を選び、それぞれ担当事業場を定め、その事業場でコンプライアンス違反問題が発生しないよう監視・予防する仕組みである「コンプライアンス委員制度」の運用、また、業務に関連する法令の認識・周知不足から起こる違反を防ぐため「リーガルリスクマネジメントシステム」の構築を進め、グループ全社を

挙げて、さらなるコンプライアンス体制の強化、充実を進めてまいります。

さらに、コンプライアンスの徹底には社員全員の意識と知識の向上が不可欠との認識から、全従業員を対象としたコンプライアンス教育プログラムを引き続き充実させてまいります。

「食」を担う企業だからこそ できる「食育活動」

「食育活動」は食品企業だからこそできる社会貢献活動のひとつであり、伊藤ハムグループのCSR活動の重要な一環であると考えております。この理念を具現化するため、「伝えていきたい食べるよろこび」を食育活動のメインメッセージとして「食育」に関するさまざまな活動に取り組んでおります。今後も、継続して、弊社グループらしい企画をプランニングし、着実に実行し食育活動を充実させてまいります。

ボランティア活動を通じた 「社会貢献」

伊藤ハムグループは企業が地域社会に貢献するためには、従業員の地域社会への帰属意識と地域社会活動に対する積極的な参画意識を高めることが重要であると認識しております。そこで、従業員の社会貢献活動への積極的な参加を促すことを目的として、ボランティア体験学習を開催するとともに、ボランティア休暇制度や社会貢献表彰制度を充実させ、従業員のボランティア活動への参画意識の高揚を図っております。

一方、開発途上国の子どもの支援を行う趣旨に賛同し、2008年度よりユニセフとタイアップして弊社製品の販売数量に応じてユニセフを通じて寄付を行う「タンザニア支援プロジェクト」の取り組みを継続して行っております。

また、全国各地のクリーンアップ活動に参加、六甲山の森を守り育てることを目的とした「こうべ森の学校」の活動や、東京都八王子市における「高尾の森づくりの会」の活動に参加して間伐・植樹作業を実施するなど、

自然環境保護活動も継続して実施しております。

「地球温暖化防止」のために

伊藤ハムグループでは地球温暖化防止、二酸化炭素の排出量削減を企業の社会的責任を果たす重要な指標と位置づけ、省エネルギー・省資源の推進、廃棄物の削減とリサイクルの推進、温室効果ガスの排出削減など、さまざまな環境負荷低減活動に積極的に取り組むとともに、全生産施設を対象として、中期環境目標を定め、達成に向け日々努力を重ねております。

具体例として、高効率タイプのボイラーへの入れ替え、高効率タイプの冷凍機への更新、照明器具の省エネタイプへの更新、クールビズなどの省エネルギー対策を実施しました。また、廃棄物削減対策の一環として、油脂分離回収装置を導入、廃水処理施設に流入する水質を改善し、汚泥の発生量を抑制し汚泥の削減に取り組んでおります。

社会から信頼され続けるために

社会性のない企業は存続し得ないという認識のもとで伊藤ハムグループが行っている社会貢献プログラムのいくつかをご紹介させていただきましたが、今後も多方面にわたってさまざまな課題にチャレンジするとともに、社会貢献活動や食育活動、環境保全活動を継続することによって、伊藤ハムグループが真に社会から信頼され続けるために全力でまい進いたします。

伊藤ハムグループが実施いたしますこれらの活動につきましては、今後ともこの「CSR報告書」にて幅広く情報開示を行ってまいります。伊藤ハムグループの活動内容とその結果に対するステークホルダーの皆様のご理解と、皆様からの忌憚のないご意見・ご鞭撻を賜れば幸甚に存じます。

2011年12月

マネジメント

事業分野はもちろんのこと、コンプライアンス（企業倫理の遵守）の強化に取り組み、明るく元気いっぱいの輝く企業を目指します。

社 是

事業を通じて社会に奉仕する

経営方針

企業理念

伊藤ハムグループは長期的な企業価値の向上を目指し、活力ある魅力的な企業、また、社会に貢献できる企業へ全社を挙げて取り組むことを基本方針としています。

1. 使命 (ミッション)

伊藤ハムグループは価値ある商品・サービスを提供することで、健全な生活の基盤となる「食べる」ことの喜びや楽しさ、大切さを伝えてまいります。

2. 経営 姿勢

- コンプライアンス（企業倫理の遵守）を徹底し、透明性の高い経営を行うことで、社会から信頼される企業を目指してまいります。
- お客様に「安全」で「安心」な商品をお届けいたします。
- 環境にやさしい企業活動を推進いたします。
- 社員は会社の大切な財産です。能力主義・成果主義を重視し、何事にもチャレンジする活力ある職場を目指します。

3. 行動 規範

- あらゆる法令や会社の規則を遵守し、社会良識に沿って行動します。
- 議論は自由闊達、且つ徹底的に行い、決めた事はすぐに実行し最後までやり遂げます。
- 慣習にとらわれず、常に新しい発想で、自主的に行動します。
- 「強く 正しく 遅しく」の伝統精神のもと、自己責任原則を徹底します。

経営ビジョン

アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーになる

伊藤ハムグループは、企業規模や利益の追求だけを目的とせず、日本をはじめとしたアジア全体で、最も安全で安心な商品を提供している企業であるという信頼を得ることを目指します。

中期経営方針

1. コンプライアンス体制の更なる充実

- ・引き続き体制の充実を図る。
- ・業務執行に対する監督機能の一層の強化。
- ・社外取締役の導入。
- ・社会貢献活動にも引き続き注力。

2. 人材の育成

- ・ジョブローテーション／チャレンジ制度の構築。
- ・生産技術センターを設立し製造技術の伝承とレベルアップを図る。

3. 営業力、生産力をはじめとする現場力の強化

- ・価値を生み出す現場の力の充実・強化。

4. お客様目線での商品開発を伴うマーケティング力強化

- ・新しい価値創造。
- ・商品開発／マーケティング部門への人材投入。
- ・業務用商品の開発力・マーケティング力強化。

5. コスト競争力の強化

- ・経営資源をより効率的、効果的に使える強い筋肉質の企業体質へ。

コンプライアンス

ステークホルダーの皆様からの信頼を高め、健全で誠実な企業経営を行ううえで守るべき考え方を「企業倫理規範」として策定しています。企業価値の向上の

ためには、企業倫理の高い公正な企業経営を徹底することが基本であると考え、コンプライアンス（企業倫理の遵守）の強化に取り組んでいます。

コンプライアンスの意味と目的

●コンプライアンスとは・・・

一般的には「法令遵守」を意味しますが、伊藤ハムグループでは「企業倫理の遵守」と定義します。

●コンプライアンスの目的・・・

経営方針に沿って、会社および役員・従業員等が企業活動を円滑に行ううえで、遵守すべき普遍的な考え方を規定し、その実践によって企業価値の向上を目指すとともに社会的貢献に努め企業の永続性を図ることです。

企業倫理規範（コンプライアンスの原則）

1. 公正な行動

伊藤ハムグループは、会社が社会の公器であるとの自覚と責任のもと、常に社会的良識に沿って公正に行動します。

2. 倫理観と遵法の精神

常に遵法を心がけ、確固たる倫理観をもって誠実に事業活動を行います。

3. 関係法令の社内徹底

事業活動に必要な関係法令の収集とその理解に努め、その遵守を確実にするため、社内規程の制定と教育・アナウンスなどを通じて社内徹底を図ります。

4. 法令違反の早期是正と厳正対処

業務遂行活動が関係法令や社会的良識に反する場合は、速やかにその違反状態を是正し、再発防止に努めるとともに、違反行為に対して厳正に対処します。



コンプライアンス・ハンドブック

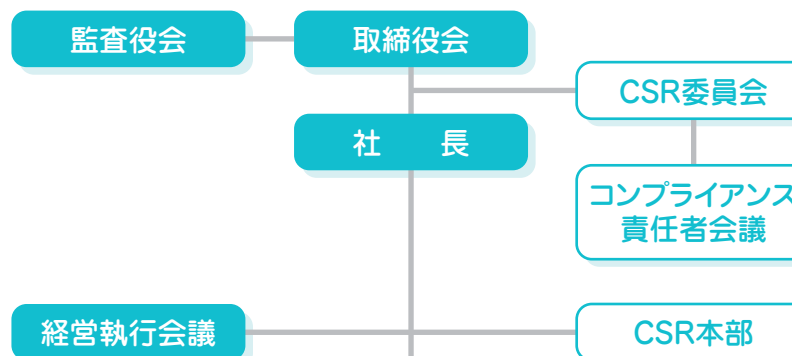
組織

伊藤ハムグループでは、CSR本部が中核となってコンプライアンスを推進しています。

CSR本部の目的は、伊藤ハムグループの役員をはじめ、全従業員のコンプライアンスに対するさらなる意識向上、並びに実践の企業風土を徹底浸透させるとともに、内部監査体制の強化・拡充です。

本部長は「コンプライアンス違反行為に対しては社長代行として改善指示が出来る権限」を持ち、その責任は「監査等を通じた問題点の早期発見・社長及び取締役会への報告／現場への改善指示／是正プロセス及び結果の確認と社長及び取締役会への報告」となります。

【CSR推進組織図】



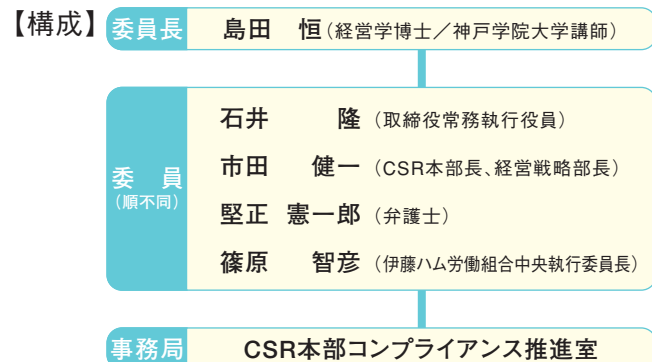
【推進活動内容に対する基本的な考え方】

- ・社会的な常識を正しく認識するための情報提供と指導
- ・社内の問題点を早期に発見し、改善につなげるための積極的な活動
- ・社内各事業本部（本部）機能、管理部門の連携
- ・特定の部署や個人が情報を囲い込むことがないよう、風通し良く開かれた組織風土、企業体質の確立
- ・社内外の声を真摯に聞く、開かれた姿勢
- ・マイナス情報を含めた積極的な社内外への情報発信による説明責任の履行

CSR委員会とコンプライアンス責任者会議

CSR委員会

【役割】第三者の目でCSR体制をチェックし、その結果を取締役に提言します。



コンプライアンス責任者会議

【役割】各部署での課題・問題を全社で共有します。



コンプライアンスに関する規程の整備

コンプライアンスに関するルールを明確化し、従業員に周知するためにコンプライアンスに関する規程の整備を進めています。

コンプライアンス推進規程	コンプライアンスの実践やコンプライアンス推進体制などについて定めています。
社内通報規程	相談窓口の対応手順や通報・相談者の保護などについて定めています。
内部者取引管理規程	証券取引および関連法規に違反する内部者取引を未然に防止するために、役職員の職務に関して取得した未公表の内部情報(重要事実と同義)の管理、役職員の株式等の売買その他の取引および役職員の職務に際して遵守すべき基本的事項を定めています。
個人情報取扱規程	個人情報の取得、保管、利用、廃棄のプロセスを定めています。

情報セキュリティの維持・向上

伊藤ハムグループは、全役員並びに全従業員のIT利用に関して、「伊藤ハムグループIT利用規則」を定め、法令・社内の諸規程および社会倫理に反する利用や、お客様を含めた一般社会に不利益を与える利用を厳しく禁じています。同時に、事業活動にかかわる情報資産のセキュリティ確保および個人情報保護による社会的責任を果たすために、情報技術の進歩や業務環境の変化等も考慮しながら、情報資産にかかわるリスクを継続的に評価し、情報セキュリティ全般の維持・向上に努めています。

従業員教育

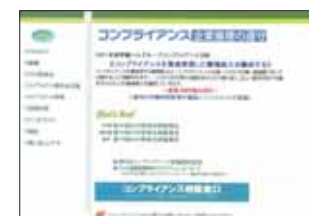
従業員のCSRやコンプライアンスに対する意識・関心を高め、行動に結びつけるために、CSR講習会、新入社員研修、階層別研修や部門研修、所長会議や店長会議など、さまざまな場面でコンプライアンスについての教育を行っています。



研修風景

適切な情報の開示および共有化

従業員にコンプライアンス・マインドを浸透させ、日常業務の中で実践するために、周知・啓発活動を行っています。効果を高めるために社内イントラネットや社内報を使ってコンプライアンスに関する情報を開示しています。



社内イントラネット



社内報「YAKUDO」

相談窓口の設置

違法行為、社内ルール違反や社会的良識からの逸脱を見かけたり、疑問を感じた場合には、まず上司に報告することを基本としています。しかし、それが難しく従業員がコンプライアンスに関することで困ったとき、悩んだときの相談先として次のような窓口を設置しています。



また、社外からの窓口として、ホームページとお客様相談室(フリーダイヤル:0120-011186)を設置しています。



コンプライアンスカード

コンプライアンスデー

従業員のコンプライアンス・マインドのさらなる浸透と定着を図るために、毎年9月1日を「コンプライアンスデー」と定め、コンプライアンス意識調査の実施やポスターの掲示を行っています。



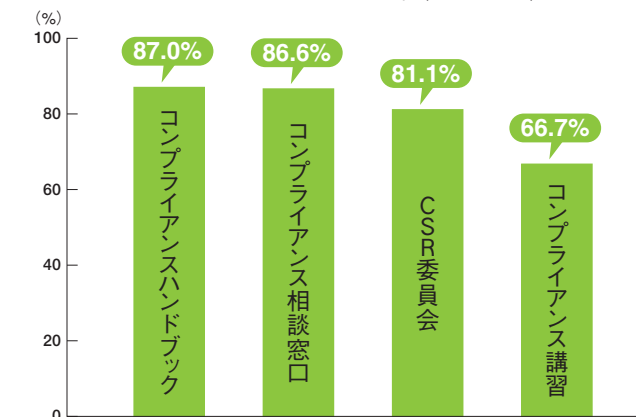
ポスター

意識調査の実施

コンプライアンス・マインドの浸透状況を把握し、推進活動に役立てるとともに、従業員にその結果を報告し、各職場での実践につなげています。

【第9回コンプライアンス意識調査結果(正社員対象)】(抜粋)

●あなたは、次の伊藤ハムグループのコンプライアンスの体制・取り組みを知っていますか。(複数回答)



目的: コンプライアンスの浸透状況を把握し、今後の活動に生かすため
 期間: 2010年8月23日～2010年9月25日
 対象: 伊藤ハムグループに所属する役員、執行役員、社員合計4,860名

コンプライアンス委員制度

全国で192名のコンプライアンス委員を任命し、職場に根付いたコンプライアンスを推進するために、担当地域内でのコンプライアンスに関する周知や従業員からの相談受付など、さまざまな活動を行っています。

トピックス

「リーガルリスクマネジメント」運用スタート

業務に関連する法令の認識・周知不足から起こる違反を防ぐため「リーガルリスクマネジメントシステム」の構築を進めています。

事業部門ごとに業務や取引に関連する法令を抽出し、当該法令の違反リスクとその防止策等を一覧化したリスト(「法令チェックリスト」)を作成しています。

さらに、「法令チェックリスト」が完成した事業部門では、モニタリング活動を行い業務が適切に運営されているかチェックしています。

また、最新の法令情報を取得し「法令チェックリスト」の更新をすることで、職場レベルでの法令知識の向上を目指しています。



活動報告会

消費者の皆様とともに

消費者の皆様「安全」で「安心」な商品をお届けし、食べることへの喜びや楽しさ、大切さをお伝えするために、さまざまな取り組みを行っています。

安全・安心への取り組み

牛肉のトレーサビリティ

お客様に安全とともに安心をお届けするために、「安全・安心システム(トレーサビリティシステム)」を導入し、牛肉のトレーサビリティ(生産・流通履歴の確保)に取り組んでいます。詳しくはホームページをご覧ください。



トレーサビリティのホームページ

「安全・安心システム(トレーサビリティシステム)について」ホームページ

<http://www.itoham.co.jp/farm/anzen/tracea/index.html>

ISO22000の取り組み

伊藤ハムグループでは、2005年12月にグループ会社であるサンキョーミート(株)有明ミート工場が食肉業界で初となるISO22000を認証取得したのをはじめ、食肉事業部門の全生産事業所が、ハム・ソーセージの生産工場ではグループ会社である筑紫ファクトリー(株)北九州工場がISO22000の認証を取得しました。ISO22000は、品質管理の国際規格であるISO9001をベースとして、工程管理にHACCP(総合衛生管理製造過程)を取り入れた食品安全に特化した国際規格です。



ISO22000適合証明証

認証取得事業所一覧 P35

お客様の視点に立った食品表示への取り組み

食品表示は、お客様にとって非常に重要な情報です。伊藤ハムグループでは、生産・販売している各食品について、関係法規を遵守し、かつ、お客様にできるだけ分かりやすく表示するように取り組んでいます。

近年、特に法的義務のある表示基準が複雑化し、さまざまな表示事項の追加、表示方法の改正が行われていることにかんがみ、CSR本部品質保証部では、社内の食品表示基準を整備し、表示研修会を開催して社員の知識向上を図っています。

また、表示の法令遵守はもとより、伊藤ハムブランドの商品パッケージの表示・デザインについては、定期的に営業部門、生産部門、商品開発部門、仕入れ部門、品質管理部門によるミーティングを行い、よりお客様の視点に立った表示・デザインへの改訂に努めています。

品質保証監査

CSR本部品質保証部では、お客様に安全・安心な商品を提供するために、伊藤ハムグループの各生産工場、販売・物流拠点が適正に運用されているか等について、定期的、臨時的な監査・点検を実施しています。

特に、ハム・ソーセージなどの食肉製品の主力生産工場については、監査員が常駐し、厚生労働省承認のHACCP(総合衛生管理製造過程)の基準で、適正に運用生産されているか等について、各工場の品質管理部門と連携して、監査・点検を実施しています。

また、従来より、伊藤ハムグループの各営業所・物流・販売店舗の監査、および社外協力工場についても、新規取引開始時の工場審査、取引開始後の定期監査等を実施し、各商品の品質・安全性を確認・検証しました。



品質保証監査

お客様の声の反映

もっとおいしくコミュニティ

「もっとおいしくコミュニティ」は、“お客様の視点からの自由な発想によるご意見”によって弊社商品をもっと良い商品にすることを目的として、2004年11月よりスタートしました。

メンバーの皆様には、グループインタビューやアンケート調査に参加していただき、そのご意見を商品の開発や改良のアイデアにつなげています。



「もっとおいしくコミュニティ」グループインタビュー

お客様相談室

伊藤ハムグループお客様相談室では、お客様からのお問い合わせ・ご意見を、電話や手紙、ホームページなどを通じて、受け付けています。

特にお問い合わせには、電話で内容を詳しく伺い、誠意ある対応を迅速に行うことを心がけています。また、ご指摘いただいた内容については、関係部門と情報を共有し、問題点の抽出・改善に努めています。

【お客様の声を生かすしくみ】



お客様の声を製品に反映

お客様からお寄せいただいた商品についてのご意見・ご要望は、商品の改善・開発に役立つ伊藤ハムにとっての“宝物”です。

お客様相談室では、「お客様の声」を関係部門に伝え、伊藤ハムブランドの商品パッケージの表示・デザイン、形態の改善、開発に役立てています。

改善事例

フック穴のあるスライスパックについて、「開封時に、フック穴に残している開け口の部分に引っかかって、包材が裂け開封しづらい」というお客様の声を多数受け付けました。

そこで生産部門で検証し、フック穴に残している開け口の向きをフック穴の上部から横に変更することにより開けやすくなることがわかり、改善しました。

〈旧パッケージ〉

フック穴に残している開け口が上向きに開く
…開封時、包材が引っかかって裂ける



〈新パッケージ〉

フック穴に残している開け口を横向きに開くように変更…包材が引っかからず、スムーズに開封できる



食育

2005年に「食育基本法」が公布されてから「食」への関心が高まり、企業や学校、地域でさまざまな取り組みが行われています。伊藤ハムでは2007年1月、「食育

に関する基本理念」を制定。「食」に携わる企業として、食べることの喜びや楽しさ、大切さを伝える活動を積極的に展開しています。

「食育」に関する基本理念

食育活動理念

伊藤ハムは、健全な生活の基礎となる「食」の大切さや楽しさを伝え、今、求められている「家族揃っての食事」が、語らいや団らんを育むことを伝えてまいります

メインメッセージ

伝えていきたい食べるよろこび

食育活動方針

- 安全・安心で良質なたんぱく質を提供します
- 正しい食習慣をサポートします
- 貴重な食資源を大切にします
- 楽しい食文化を発信します

コーポレートメッセージ

あふれる笑顔

お客様の「あふれる笑顔」を実現させるために、食育活動を推進してまいります



食育活動のテーマ



1日の活力源である朝食を肉製品や食肉を使って食べることを提案してまいります



食肉や肉製品のバランスの良い食べ方を提案してまいります



食の大切さ、健全な食生活に役立つ情報を楽しくわかりやすくお伝えしてまいります



伊藤ハムグループ社内の食育に対する啓蒙活動を進めます

食育推進委員会の設置

伊藤ハムの食育活動をさらに積極的に進めていくために、2009年より社内公募を含めたメンバーによる「食育推進委員会」を設置。メンバーは東西でのイベント

ごとに活動の具体的なプランニングを行い、実践しています。

実施の目的と狙い

当社らしい企画をプランニングし、着実に実行していくことで食育活動の目的を達成してまいります。

「食育」活動の発信

エンターテインメント性のあるイベントを展開し、お客様との積極的な交流を図り、当社の「食育」に対する取り組みを発信してまいります。

お客様支援

店舗の賑わいづくり・集客支援とともに、お客様のお店の活性化、販促支援を行ってまいります。

社会貢献活動

「事業を通じて社会に奉仕する」の社是のもと、未来を担うお子様の健康と、楽しくおいしい「食」の提供、地域社会との共生を図る一環として活動してまいります。

ファン育成 (PR活動)

楽しい演出と食をテーマにしたPRイベントで当社のブランドイメージの醸成につなげてまいります。

活動例

手作りウインナー教室



ウインナーの飾り切り教室



宮澤真理さんのお絵かきお弁当教室



“ちきゅうのめぐみ! いきいき食育組” こべっくらんど(神戸市総合児童センター)



株主・投資家様とともに

株主・投資家の皆様に株主還元を実施するとともに、長期的な企業価値の向上を目指し、経営情報を開示します。

企業情報開示・IR活動

伊藤ハムではさまざまな機会やメディアを通じて、株主や投資家の皆様への適時適正な情報開示に努めています。

ホームページによる情報開示

伊藤ハムではホームページにおいて、適時適正な情報開示に努めています。

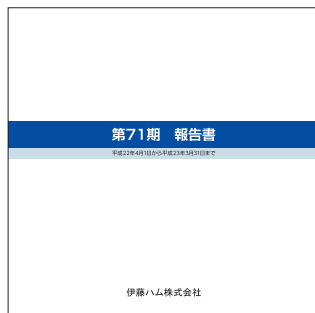
「伊藤ハム」ホームページ
<http://www.itoham.co.jp>
 「株主・投資家の皆様へ」ホームページ
<http://www.itoham.co.jp/corporate/ir/syaze.html>



ホームページ画面

株主様向け報告書の発行

株主様向けの報告書を年に2回発行し、財務情報などをタイムリーにお伝えしています。



第71期報告書

決算説明会

決算および第2四半期決算発表後、アナリスト・機関投資家様などを対象に決算説明会を開催しています。説明会資料については、ホームページにも掲載しています。

開かれた株主総会を目指して

近年、会社を取り巻く社会情勢がめまぐるしく変化している中、株主総会は経営方針を決定する場としての重要性がさらに高まっています。

伊藤ハムでは最高意思決定機関である株主総会を、株主の皆様と直接、意見を交換できる貴重な場と位置づけ、開かれた総会となる運営を目指しています。その一環として、本年より招集通知書をグラフや写真を用いたカラー刷りに変更しました。また、株主総会においては、事業報告と計算書類などの報告では、ナレーションと映像を用いて説明し、株主の皆様により理解していただけるよう努めています。

質疑応答においては、さまざまな視点からのご質問や貴重なご意見をいただき、それぞれに誠意をもって回答しています。



招集通知書



第71回 定時株主総会

株主優待制度

伊藤ハムでは、株主の皆様に感謝の意を表すとともに、弊社の製品をより身近に感じていただくことを目的として、株式1,000株以上保有の株主様に対して、年1回（時期6月）、5,000円相当の製品を贈呈する、株主優待を実施しています。



株主優待品（2011年6月送付）

社会貢献活動

伊藤ハムグループの社は「事業を通じて社会に奉仕する」の精神のもと、地球環境への配慮と、地域社会との共生を目指して、社会貢献活動に取り組んでいます。

社会貢献活動の取り組み

ユニセフ支援

- タンザニア支援プロジェクト
- 従業員募金活動
- 街頭募金活動
- カタログ商品の購入
- 外貨コイン募金活動



タンザニア・ザンジバルの栄養不良の子ども



従業員募金活動

ボランティア支援

- 社会貢献推進期間
- ボランティア体験イベント
- 社会貢献表彰
- ボランティア休暇制度
- 社会貢献活動パネル展



社会貢献推進期間ポスター



ボランティア体験イベント「課外授業」こうべ森の学校

自然環境保護

- こうべ森の学校
- 高尾の森づくりの会
- 全国各地のクリーンアップ活動
- 環境学習出前授業



こうべ森の学校



クリーンアップin甲子園浜

地域社会貢献

- 全国の工場・営業所周辺の清掃活動
- “食とeco” わくわく探検隊
- 被災地救済支援活動
- 健康ひょうご21県民運動への支援
- 工場見学とウインナー手作り体験



名古屋事務所周辺の清掃活動



“食とeco” わくわく探検隊

ユニセフ支援活動

タンザニア支援プロジェクト



タンザニア連合共和国ザンジバルの5歳未満の子ども全員を対象としたユニセフの栄養事業を支援しています。2008年から2010年の3年間で目標の2倍以上の金額、5,721万345円をユニセフに寄付することができました。寄付金が倍増したことにより、支援対象を当初予定の2万人から20万人に拡げ実施しています。



従業員募金活動

従業員募金と、その同額を会社が寄付するマッチングギフトを実施しています。



街頭募金活動

ユニセフ全国募金イベント「ハンド・イン・ハンド」に参加しています。



ボランティア支援活動

社会貢献表彰



顕著な社会貢献活動を継続して実施している従業員を表彰する制度を設けています。

ボランティア休暇制度

ボランティア活動に参加する場合、休暇を取得できる「ボランティア休暇制度」を設けています。

ボランティア体験イベント



ボランティア意識の向上と、社会貢献活動への参加を促すために、「ボランティア体験イベント」を開催しています。

従業員ボランティアによる社会貢献イベントの開催

各地で従業員ボランティアが運営する社会貢献イベントを開催しています。

自然環境保護活動

森林保護活動

森林保護活動に参加しています。

こうべ森の学校・関西



高尾の森づくりの会・関東



クリーンアップ活動

全国各地のクリーンアップ活動に参加しています。



- クリーンアップ石狩新港浜
- 石狩湾新港地域クリーン作戦
- 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン
- 小矢部市530 (ゴミゼロ) 運動
- 船橋ベイエリアをきれいにする日
- ふなばし三番瀬クリーンアップ
- 目黒川クリーン大作戦
- 東京ベイクリーン大作戦
- 梅田川ふれあいクリーン作戦
- クリーンアップin甲子園浜
- 基山町クリーンアップ作戦
- 全国主要事業所周辺清掃活動

地域社会貢献活動

“食とeco” わくわく探検隊

食べ物と環境のかかわり、自然環境と生命の大切さを伝えることを目的に実施しています。



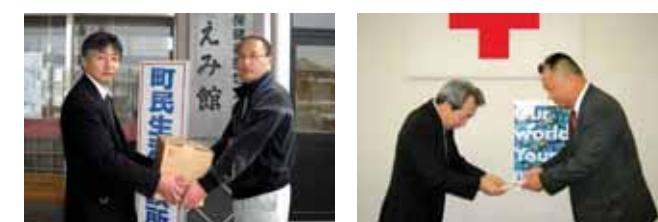
「ハム工場を学ぼう」

「食」に対する興味・関心を高めていただくことを目的に実施しています。



被災地救済支援活動

国内外の自然災害に際して、義援金の寄付や救済物資として当社製品を贈っています。



従業員とともに

従業員は会社の大切な財産です。何事にもチャレンジする活力ある職場、安全で安心して働ける職場環境の実現を目指します。

人材の育成・雇用

人材の育成

伊藤ハムグループは社員一人ひとりが自身の価値観や仕事観に基づいたキャリアビジョンをしっかりと描き、チャレンジ精神のある取り組みを評価し、公正な処遇へと結びつけ、チャレンジ意欲と活力ある企業風土を醸成します。

<人材育成の基本方針>

企業価値拡大に向けて、活力ある企業風土の醸成を目指し、人材活用プログラムを通じてチャレンジ精神に溢れた人材を育成します。

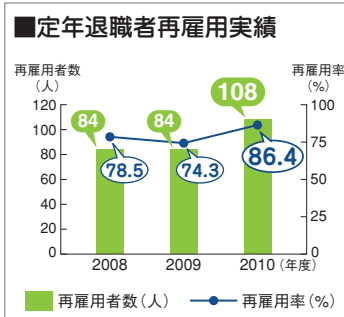
- ◆計画的な異動ローテーションを導入し、経験の付与とチャレンジ精神の喚起を行い、次世代リーダーの育成と組織の活性化を図ります。
- ◆社内FA（フリーエージェント）や社内公募などのキャリア支援の仕組みを導入し、社員一人ひとりのキャリア形成を促進します。
- ◆人事コースの複線化に伴い教育プログラムの整備と学習機会を提供し、充実した職能・スキル教育を実施します。
- ◆納得性を高めた評価制度、昇格制度により、コミュニケーションの促進とモチベーションアップを図り、社員のやる気を高めます。
- ◆会社が推奨する資格を取得した場合に奨励金を支給したり、会社が指定する社内通信教育を修了した場合に受講費用を補助します。

定年退職者再雇用制度の拡充

定年退職後も働く意志があり、引き続き勤労者として社会に貢献したいと考えている従業員に気持ちよく働いてもらうことは、従業員、会社および社会にとって大きなメリットがあるとの認識のもと、2006年に、従来の「定年再雇用制度」を拡充し、定年を迎える1年前（非正社員は半年前）に本人の意志を確認したうえで、最長65歳まで再雇用を継続する制度を導入しました。

再雇用期間は1年ごとの契約とし、毎年継続就業の意志確認を行っています。勤務形態は、従業員本人の希望をできるだけ汲み入れ、契約時間等に関して柔軟に対応しています。

その結果、2010年度は定年退職者の約86%にあたる108名を再雇用しました。また、再雇用のみでなく60歳を超えた新規採用を進めるなど、少子高齢化に対応した制度運用を目指しています。



障がい者雇用の促進

障がい者雇用率は、2011年6月1日時点で1.64%（法定雇用率1.8%）となっています。伊藤ハムは、1993年に法定雇用率（当時は1.6%）を上回って以来、雇用率を維持し続け「兵庫県障害者雇用促進協会会長賞」「兵庫県知事賞」「日本障害者雇用促進協会会長賞」を受賞してきました。

しかし、事務系派遣従業員の直接雇用化を進めたことや、障害者雇用促進法が改正され、短時間労働者が雇用率の算定基礎にカウントされることとなったため、法定雇用率を下回る結果となりました。

今後は、法定雇用率以上を目指して、障がい者が安心して働くことのできる環境・風土づくりになお一層取り組んでいきます。また、グループ会社の雇用率向上に向け、各会社が主体性を持って適用業務の整備・拡大を図りつつ、採用活動を続けていく地盤づくりにも積極的に取り組んでいきます。

仕事と育児の両立を支援

最長2年間の育児休暇期間を安心して過ごし、スムーズに職場復帰ができるよう、2007年に「育児休暇取得者職場復帰支援プログラム」を導入、2010年には妊娠中から職場復帰後も利用できるSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）方式のコミュニティ機能を追加した新プログラムを導入しました。

また、「短時間・時差勤務制度」および「フレックスタイム制度」、さらには養育する子どもが病気や怪我をしたときに取得できる「家族ケア休暇」など、職場復帰後の負担軽減を目的とした制度を導入して子育てを支援しています。

2005年4月1日に制定された「次世代育成支援対策推進法」をうけ、すべての従業員が能力を発揮できるような職場環境の整備と、育児休暇などの諸制度の充実を図ることを柱とした、「第三次次世代育成支援行動計画」を策定・実施し、2011年8月に「基準適合一般事業主」の認定を受けました。

さらに、2011年4月1日からは「第四次次世代育成支援行動計画」と、段階的に支援強化、制度拡充に努めています。

※伊藤ハムは2007年7月にも「基準適合一般事業主」として認定されています。（第一次次世代育成支援行動計画）



労働安全衛生

伊藤ハムグループは、すべての人が安全に安心して働ける職場環境を実現するため、以下に定める基本方針に従って、労働安全衛生管理に取り組みます。

<労働安全衛生管理基本方針（2011年度）>

- ①企業倫理規範に基づき、労働安全衛生の関係法令、社内規程・ルールを遵守し、従業員の安全と健康を確保します。
- ②労働安全衛生管理方針を周知し、従業員の協力の下、自主的な労働安全衛生活動の促進とPDCAによる継続的・継続的な職場の労働安全衛生管理の水準の向上に努めます。
- ③リスクアセスメントにより職場に存在する危険有害要因の把握・評価を行い、リスクレベルに基づいたリスクの除去低減策を講じて、労働災害と健康障害の未然防止に努めます。
- ④従業員が労働安全衛生の高い意識を有して、労働安全衛生を優先した作業が行えるように、繰返し労働安全衛生教育を行い、不安全行動やミスの撲滅に努めます。
- ⑤伊藤ハムグループの心の健康づくり計画に基づき、メンタルヘルス不調者への対応とともに職場のコミュニケーションの活性化による心の健康づくりに努めます。
- ⑥構内協力会社との連携、情報交換を充分に行い、構内協力会社と一体となった総合的な労働安全衛生管理の構築に努めます。

中央安全衛生委員会

伊藤ハムグループでは一元的な安全衛生活動を推進していくために、毎年期初に部門代表者で構成される中央安全衛生委員会を開催しています。委員会では年度の「労働安全衛生管理基本方針」を審議・承認し、これに従って、グループ各社で安全衛生活動を進めています。



2011年度中央安全衛生委員会

健康管理

健康情報

お客様に信頼していただける仕事をするために心身の健康は必要不可欠なものです。伊藤ハム健康保険組合では、健康診断、人間ドッグ、がん検診やメンタルヘルス、禁煙推進、ウォーキング大会などの健康対策を推進するとともに関連情報を広報誌「きらり」やホームページを活用して、従業員とその家族に向けて発信しています。

安全衛生監査

「遵法取り組みの徹底」と「労働災害や職業性疾病の発生防止」を目的に、年度の安全衛生監査計画に基づき、CSR本部環境安全推進課と本部スタッフで構成する監査チームが、書類監査とプラント監査からなる監査プログラムにより事業場の監査を行い、継続的な改善活動に努めています。2010年度は75事業所の監査を行い、遵法の指導と危険有害要因の改善に取り組みました。



プラント監査

安全衛生教育

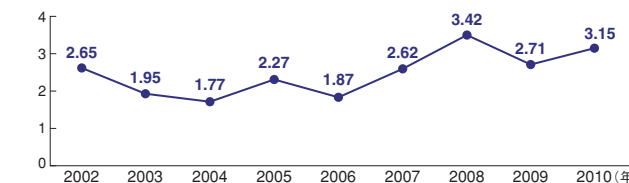
新入社員の入社時集合研修では、安全に仕事をするための基本を身につけるために、「安全衛生の基本」の講義を行っています。また、事業場のリスクアセスメント活動の支援を目的にリスクアセスメント研修会を開催し、管理監督者のレベルアップを図るとともに職場の安全確保と意識向上に取り組んでいます。



新入社員安全衛生教育

千人率の推移

■伊藤ハムグループ（休業4日以上労働災害）



※千人率は…労働者1,000人当たり、1年間に発生する死傷者を示すもの。

メンタルヘルス

伊藤ハムグループ「心の健康づくり計画」に基づき、グループ内の推進体制の構築や「医療法人あけぼの会メンタルヘルスセンター」との提携によるEAP（従業員とその家族を対象とした従業員支援プログラム）の導入など、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。

環境保全活動

地球環境を保全するために、省エネルギーや省資源、リサイクルを推進し、循環型社会形成の対応と地球環境負荷低減に努めています。

環境宣言

弊社は創業以来「事業を通じて社会に奉仕する」ことを社是として、食品の安全と品質の向上に努め、食文化と社会の発展に寄与してまいりました。

一方、1980年代後半から環境問題が地球規模となり、経営の新しいパラダイムが求められてまいりました。私たちはこの変化に対応し、継続的な環境保全と自然との調和・共生に配慮した事業活動を通じて、経営品質の高揚を図るべく新たに環境にかかわる基本理念を掲げ、全従業員が一丸となった活動を展開することを宣言します。

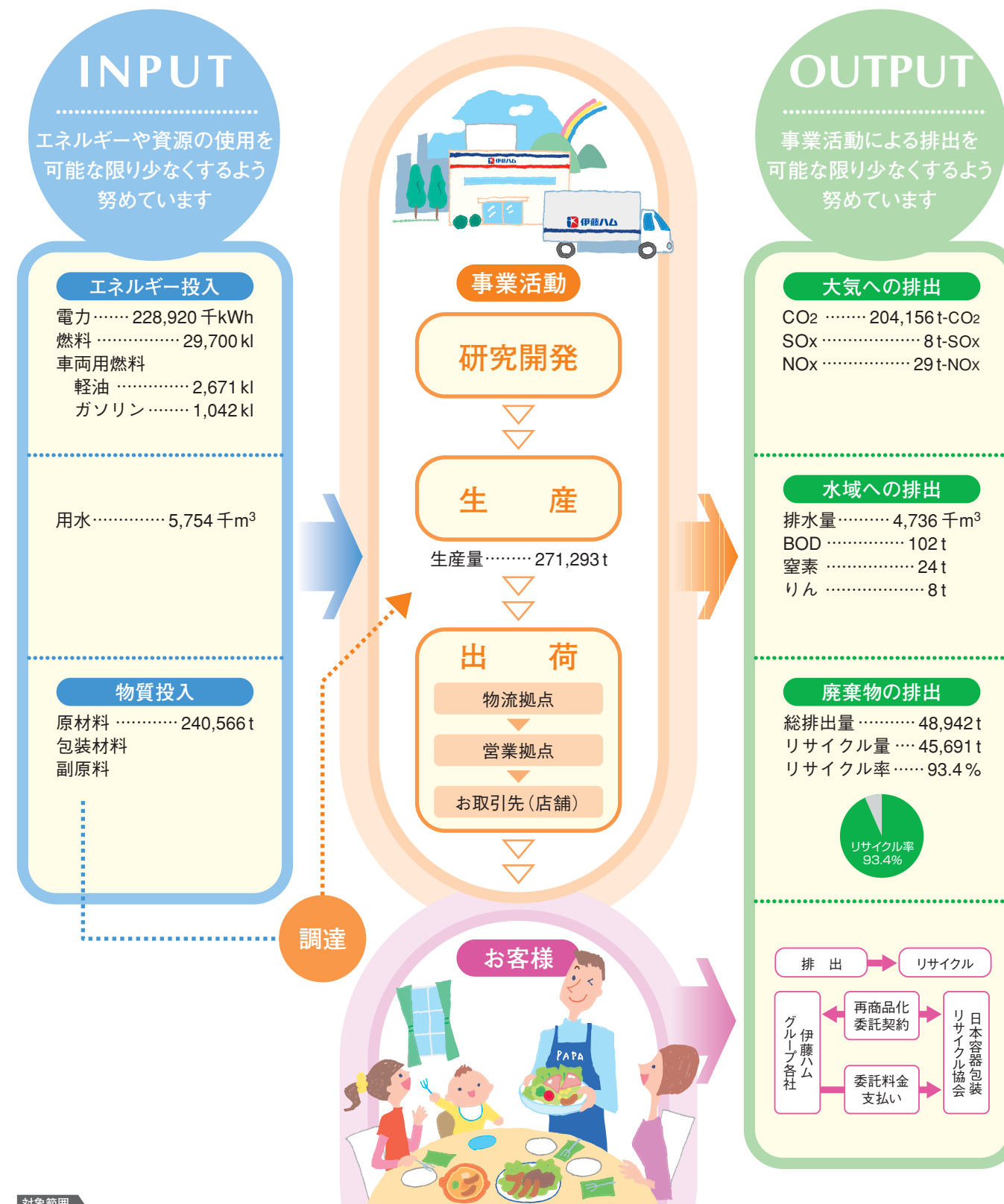
基本理念

私たちは地球規模の環境保全が、人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動を通じて環境に配慮し、その保全と社会との共生を図る努力を持続的に実践してまいります。

行動指針

1. 開発から使用・廃棄に至るすべての過程で環境影響に十分配慮した商品、及びサービスの開発推進を行います。
2. 環境に及ぼす影響を考慮し、環境目的・目標を定め、定期見直しにより環境保全の継続的改善を図ります。
3. 環境関連法・規制・条例・協定を遵守し、自主管理基準を定め環境保全活動に努めます。
4. 省エネルギー、省資源、及び廃棄物・温暖化物質・オゾン層破壊物質の排出削減を図るとともに、廃棄物の資源リサイクルを推進し、循環型社会形成の対応と地球環境負荷低減に努めます。
5. 外部・内部監査を定期に実施し、自主管理の徹底を図ります。
6. 社内外の環境教育及び社内広報活動を通じて、従業員に環境基本方針の理解と環境保全意識の向上を図ります。
7. 海外事業活動において、当事国における環境保全に十分配慮します。
8. 環境基本方針及び環境保全と活動結果について、CSR報告書により情報開示します。

環境負荷の全体像



対象範囲

■伊藤ハム(株)/九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場、中部LC、本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、九州営業部、中央研究所
■伊藤ハムデリー(株)/東北、小樽各工場、営業部 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場 ■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリーカテッセン(株)四日市工場
■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■(株)大龍 ■サンキョーミート(株)/有明ミート、霧島ミート各工場、ファーム部 ■IHミートパッカー(株)/関西、名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター ■IHミートソリューション(株)/九州、神戸、茨城、川崎、仙台、青森、札幌各バックセンター ■沖縄フレッシュパック(株)
■(株)藤栄 ■ロイヤルデリカ(株)/本社工場、岡山事業所 ■(株)菊水/本社工場、サッポロファクトリー ■伊藤ハム販売(株) ■伊藤ハムミート販売東(株)
■伊藤ハムミート販売西(株) ■伊藤ハム物流(株)

第4次中期環境目標の取り組み結果と自己評価

「第4次中期環境目標」の初年度である2010年度は冷凍機・空調設備を高効率タイプに更新する、蒸気ドレン水・冷却水を再利用する、照明器具を高効率型タ

イプに更新する、効率の良いボイラーに更新するなどを実施し、次の通りの結果となりました。

【第4次中期環境目標】

項 目	指 標	基準年度 (2009年度)	2010年度目標値		2010年度結果		評価
			数値	増減	数値	増減	
1) 省エネルギー、省資源の推進	・総エネルギー使用量 (GJ/t) ・用水使用量 (m³/t)	11.8 22.1	11.7 21.9	▲1% ▲1%	11.8 21.2	▲0.3% ▲4.0%	 
2) 廃棄物の削減とリサイクルの推進	・廃棄物排出量 (kg/t) ・リサイクル率 (%)	193 94.4	191 100.0	▲1% 5.6ポイント	180 93.3	▲7.0% ▲1.1ポイント	 
3) 温室効果ガスの排出削減	・二酸化炭素 (CO ₂) 排出量 (kg-CO ₂ /t)	679	672	▲1%	675	▲0.5%	
4) グリーン購入の推進	金額ベース ・事務用品のグリーン購入率 (%)	98.5	100.0	1.5ポイント	98.9	0.4ポイント	
	数量ベース ・事務機器のグリーン購入率 (%)	100.0	100.0	0.0ポイント	100.0	0.0ポイント	
5) 環境管理体制の充実	・グループ会社のISO14001認証取得推進 ・環境監査の継続実施						

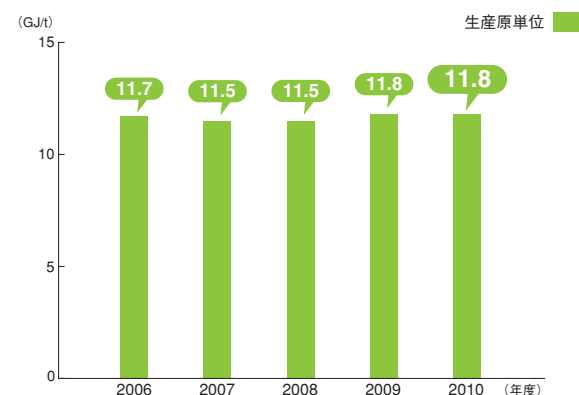
※1)～3)は生産原単位 ※総エネルギー:熱量換算(購入電力+燃料+購入蒸気) 5)は単年度目標は設定していません。継続して推進、実施します。

1 省エネルギー、省資源の推進

総エネルギー生産原単位は
0.3%減少しました。



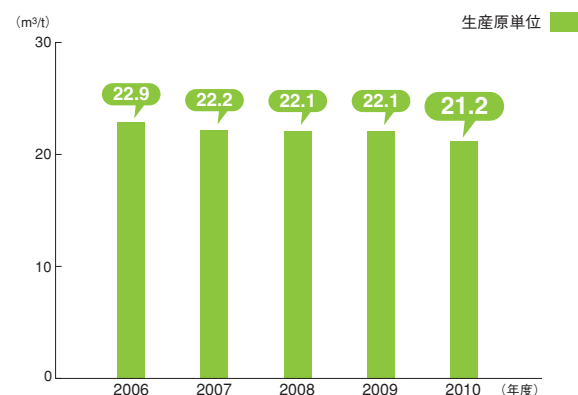
■総エネルギー生産原単位の推移



用水生産原単位は
4.0%減少しました。



■用水生産原単位の推移



対象範囲 (1,2,3)

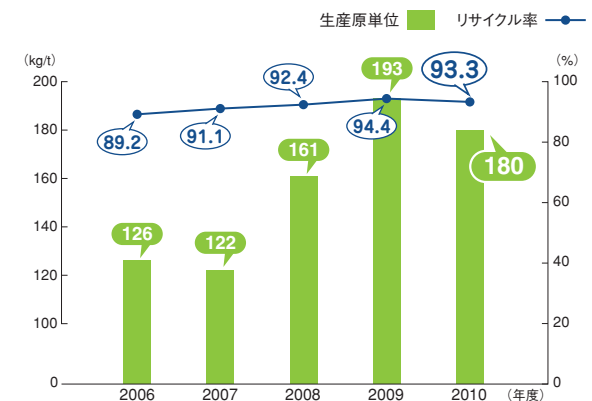
■伊藤ハム(株)九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場 ■浅草ハム(株)関東工場
■ハーバーデリカデッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■サンキョーミート(株)有明ミート、霧島ミート各工場、ファーム部
■IHミートパッカー(株)関西、名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター ■IHミートソリューション(株)九州、神戸、茨城、川崎、仙台、青森、札幌各パックセンター ■沖縄フレッシュパック(株)
■ロイヤルデリカ(株)本社工場、岡山事業所 ■(株)菊水本社工場、サッポロファクトリー ■(株)大龍(2007年度より) ■(株)藤栄(2007年度より)

2 廃棄物の削減とリサイクルの推進

廃棄物生産原単位は
7.0%減少。
リサイクル率は
1.1ポイント下げました。



■廃棄物生産原単位とリサイクル率の推移



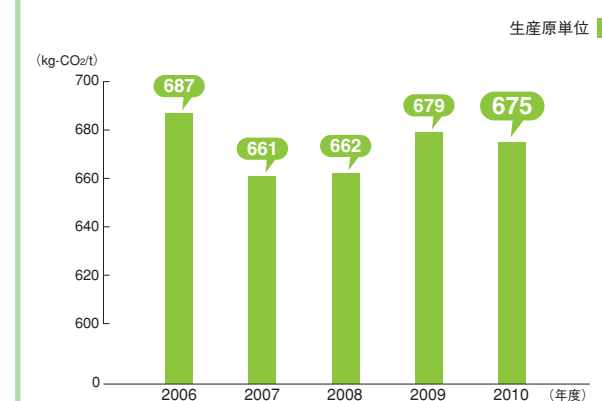
※2008年度より廃棄物の種類の集計範囲を増やしたために、生産原単位は大幅に増加しました。

3 温室効果ガスの排出削減

二酸化炭素 (CO₂) 生産原単位は
0.5%削減しました。



■二酸化炭素 (CO₂) の生産原単位の推移

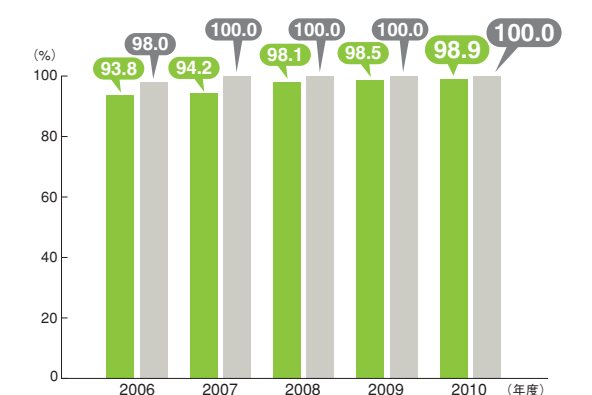


4 グリーン購入の推進

事務用品のグリーン購入率を
0.4ポイント高めました。
事務機器は
100%を維持しました。



■グリーン購入率の推移



対象範囲 (4)

【2007～2010年度】2007年度より対象範囲を広げました。
■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場
■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカデッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■(株)大龍(2009年度より)
【2006年度】 ■伊藤ハム(株)九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋、北神、中部ブランド各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場

5 環境管理体制の充実

環境監査の対象事業所数を増やし環境監査を実施し、問題点の早期発見、早期是正に取り組んでいます。

項 目	2010年度の結果
ISO14001	認証取得の増減はありません。
環境監査	73事業所で実施

■自己評価

-  2010年度の実績が目標値の100%以上でした。
-  2010年度の実績値が目標値を下回りましたが、基準年度より改善されました。
-  2010年度の実績が基準年度を下回りました。継続して、より一層取り組みを進めます。

2010年度の活動ハイライト

伊藤ハムグループでは、事業活動における環境負荷を低減し、持続可能な社会の構築に貢献するために、さ

環境監査の実施

監査計画に基づいて環境監査を実施しています。問題点の早期発見、早期是正に取り組んでいます。



環境監査〈(株)菊水本社工場〉



環境監査〈(株)大龍〉

詳しくは P24

省エネルギーの取り組み

省エネタイプの照明器具へ更新、効率の良いボイラーへの入れ替え、高効率タイプの冷凍機に更新するなど、省エネルギーの取り組みを進めています。



効率のよいボイラー〈東京工場〉

詳しくは P26、P28、P29、P30

環境ボランティア体験学習

ボランティアへの参加意識を高めるために、従業員とその家族を対象として、自主プログラムによるボランティア体験活動を定期的に開催しています。



課外授業「こうば森の学校」



クリーンアップin甲子園浜

詳しくは P32

まざまな取り組みを行っています。ここでは、2010年度に行った取り組み内容をハイライトで紹介します。

緊急時の対応訓練の実施

生産工場などでは、環境汚染や環境事故などの突発的事態の発生に備え、定期的に訓練を実施しています。



汚泥の漏洩対応訓練
〈伊藤ハム食品(株)小矢部工場〉

詳しくは P25、P35

廃棄物(汚泥)の削減

九州工場では、油脂分離回収装置を導入し、廃水処理施設に流入する排水の水質を改善、汚泥の発生を抑制して汚泥の削減に取り組んでいます。



油脂分離回収装置(九州工場)

詳しくは P27

マネジメント

環境保全活動の効果を高め、持続可能な社会の構築に貢献していくために、環境マネジメントシステムを

構築し、運用しています。

環境マネジメントの推進組織

環境マネジメントを推進し、資源やエネルギー、廃棄物問題などに対して、迅速かつ円滑に対応できるような環境管理体制を構築しています。環境基本方針や目

標設定などの全社的な事項は「環境委員会」で審議・決定しています。



環境監査の実施

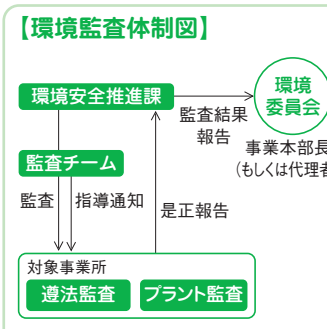
事業所内で実施する内部環境監査のほかに、環境汚染や環境事故を防止し、環境保全活動のより一層のレベルアップを図るために、CSR本部環境安全推進課と本部スタッフで構成する環境監査チームが、年度の計画に基づいて主要事業所の監査を実施しています。2010年度は、合計73事業所の監査を実施しました。

監査項目

- 環境関連法遵守状況、公害防止管理、廃棄物管理、化学物質管理、環境パフォーマンス管理など

監査結果

- 廃棄物管理や環境関連施設にかかわる届出事項に一部不備がありましたが、すべて是正しました。



ISO14001認証取得

環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的な改善を実施するために、ISO14001国際標準規格を認証取得しています。

認証取得事業所一覧 P35

グリーン購入

「グリーン購入基本方針」と「グリーン購入ガイドライン」を制定し、省エネルギー・省資源など、環境に配慮した物品の優先的な購入に取り組んでいます。今後も環境に配慮した物品購入に取り組んでいきます。



グリーン購入一覧 P37

関係法規および法の遵守

事業活動にかかわる環境関連法や各地域での環境保全協定などの遵守はもちろんのこと、事業所ごとに厳しい自主基準値を設けて、遵守状況を管理しています。さらにCSR本部環境安全推進課などによる「環境監査」を実施し、法令の遵守に万全を期しています。

伊藤ハムグループの事業所に適用される環境関連法の主なものには次のようなものがあります。

- 大気汚染防止法
- 水質汚濁防止法
- 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
- 食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）
- 資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）
- 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）
- 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）
- 特定の化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）
- エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）
- 地球温暖化対策の推進に関する法律（地球温暖化対策推進法）
- 労働安全衛生法
- 自治体との環境保全協定 など

環境管理へのお問い合わせ

2010年度は次のようなお問い合わせをいただきました。お問い合わせに対してはその都度、迅速かつ誠実に対応しています。対応策実施後、効果を確認し、先様に報告しご了解をいただいています。（お名前を教えていただけなかった場合を除く）

	内 容	対応策
騒音のお問い合わせ	休日の朝、工場からの工事の音が気になる。	廃水処理設備の工事の音が原因。施工業者をお願いして、工事は昼から実施しました。
	工場からのモーター音のような騒音が気になる。	冷房設備などに使用するクーリングタワーのベアリングから発生している騒音が原因。ベアリングを交換しました。

緊急時の対応策

事業所の管理範囲外や敷地外への環境汚染や事故などの突発的事態を想定し、影響の拡散を防ぎ汚染を最小限にするとともに、早期に修復するために、環境マネジメントシステムの緊急時の処置手順に沿って、定期的に訓練を実施しています。万一事故が発生したときには、社内間での連絡と地域住民、行政機関への連絡を円滑に行うため、「環境関連の緊急時連絡システム」を運用しています。

緊急時の対応訓練一覧 P35



汚水の漏洩対応訓練（東京工場）



薬品の漏洩対応訓練（西宮工場）

環境負荷低減の取り組み

伊藤ハムグループでは、電力・燃料・用水の使用量や温室効果ガス、廃棄物の排出量を削減するために、さまざまな取り組みを実践しています。2010年度に実施

した各部門の主な環境負荷低減の取り組みは次のとおりです。

生産部門 ハム・ソーセージ類、調理加工食品等

省エネルギーの取り組み（電力、燃料使用量の削減対策）

- 効率の良いボイラーを導入するとともに、既存の制御方式を見直し、適正台数で効率良く運転できる台数制御方式に改善しました。
- 低損失型特別高圧変圧器に更新しました。
- 冷凍機・空調設備を高効率タイプに更新しました。
- 省エネタイプの照明器具に交換しました。



効率の良いボイラー（東京工場）



低損失型特別高圧変圧器（豊橋工場）

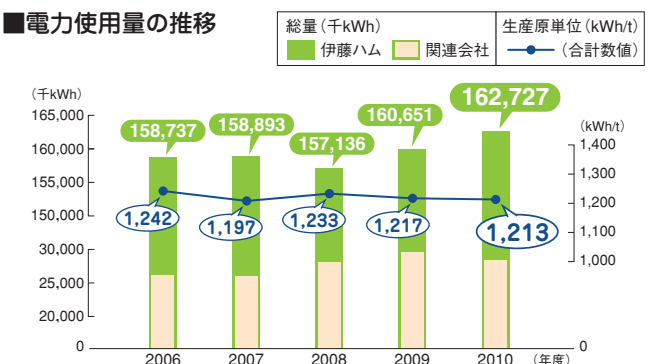


効率の良いボイラー（九州工場）

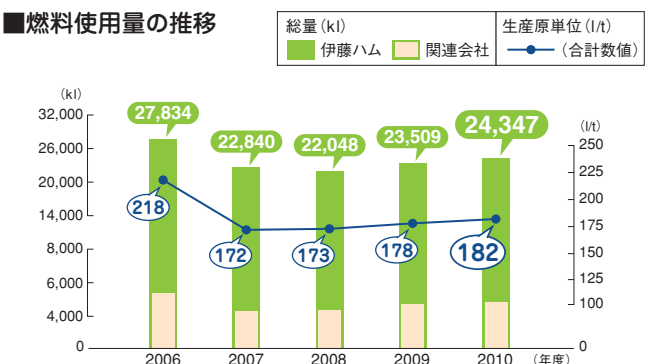


省エネタイプの照明器具
（伊藤ハムデイリー（株）東北工場）

■電力使用量の推移



■燃料使用量の推移



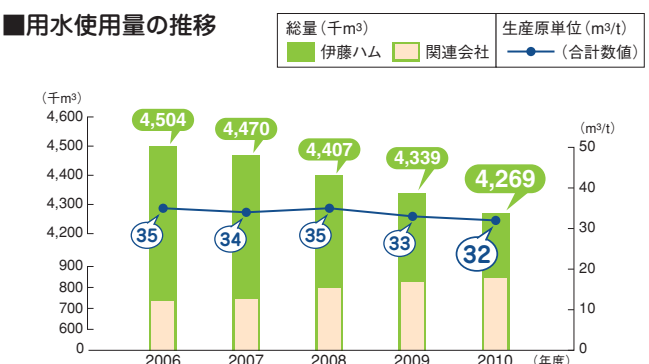
■用水使用量の削減対策

- 蒸気ドレン水を回収して、ボイラー用水に再利用しました。
- ボイラー冷却排水をクーリングタワー用水に再利用しました。



ボイラー冷却排水貯留タンク（西宮工場）

■用水使用量の推移



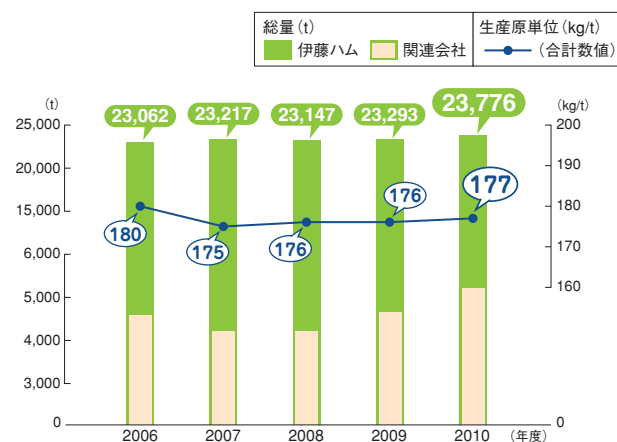
廃棄物の削減と有効利用

- 廃ポリシートをマテリアルリサイクルしました。
- 油脂分離回収装置を導入し、排水処理施設に流入する排水の水質を改善、汚泥の発生を抑制して汚泥の削減に取り組んでいます。

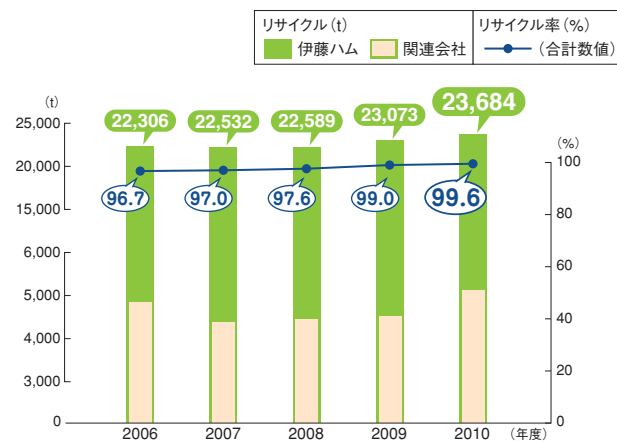


油脂分離回収装置（九州工場）

■廃棄物の排出量の推移



■リサイクル量とリサイクル率の推移

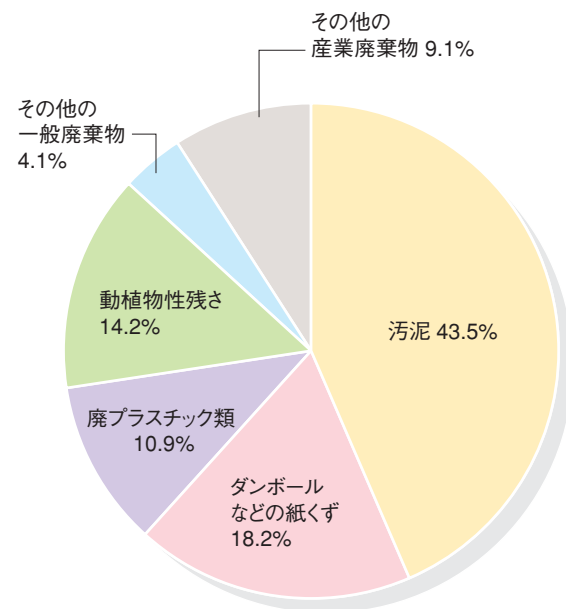


対象範囲（ハム・ソーセージ類、調理加工食品等の生産工場）

- 伊藤ハム（株）九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場
- 伊藤ハムデイリー（株）東北、小樽各工場
- 伊藤ハム食品（株）小矢部工場
- 浅草ハム（株）関東工場
- ハーベードリカッセン（株）四日市工場
- 筑紫ファクトリー（株）北九州工場
- （株）大龍（2007年度より2009年度まで計上、2010年度より生産部門（惣菜、麺類等の調理加工食品）に分類しました）

廃棄物の排出量の割合

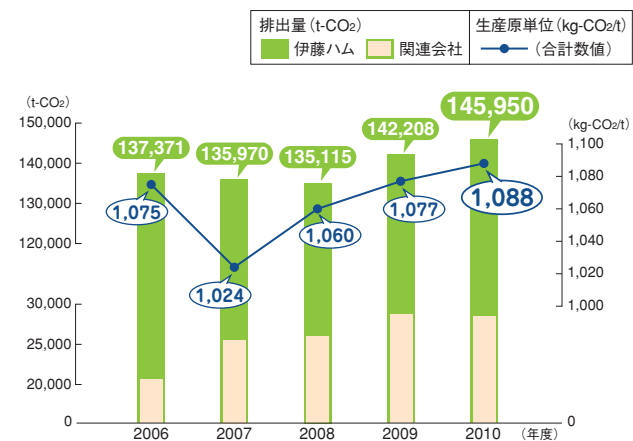
- 生産工場から排出される廃棄物の割合は以下のとおりです。



温室効果ガスや水質汚濁物質の排出削減

- フロンガスの漏洩を削減するために、定期的に冷凍設備などの点検を実施しています。
- 排気ガスや排水は規制値より厳しい自主基準値を定めて管理し、異常の早期発見、迅速な対応を実践しています。

■二酸化炭素（CO₂）の排出量の推移



食肉部門

省エネルギーの取り組み（電力、燃料使用量の削減対策）

- 冷やしすぎることがないように、冷蔵庫や空調機の温度設定をこまめに調整しました。
- 冷凍機を高効率タイプに更新しました。
- 使用していない動力機械や作業をしていない作業場の照明のスイッチをこまめに切るようにしました。
- 夏期、屋根にスプリンクラーで散水し屋根を冷却、設備全体の温度を下げて冷房装置の負荷の低減に努めました。
- 冷蔵庫や冷凍庫の扉の開放時間をできる限り短くするために、扉をこまめに開閉するよう奨励しました。

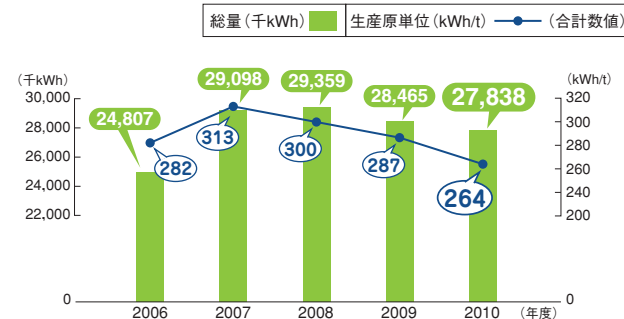


高効率冷凍機（沖縄フレッシュパック（株））

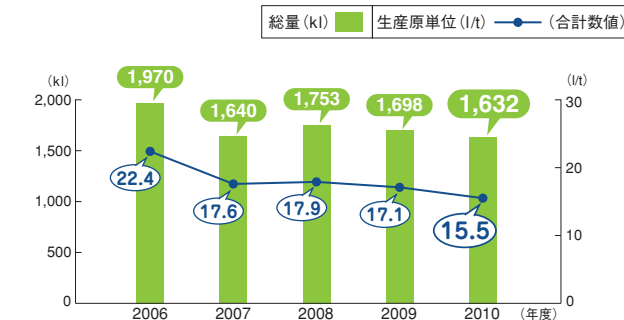


屋根にスプリンクラーで散水（サンキョーミート（株）本社）

■電力使用量の推移



■燃料使用量の推移



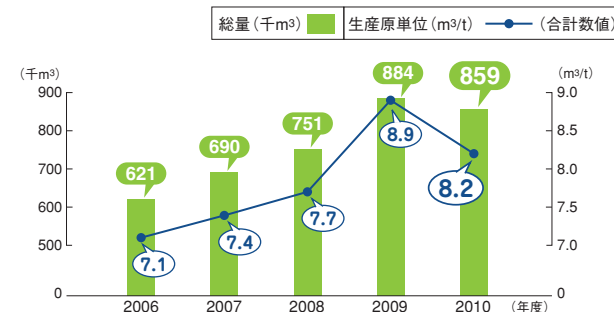
対象範囲

- サンキョーミート（株）有明ミート、霧島ミート各工場、ファーム部
- IHミートパッカー（株）関西、名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター
- IHミートソリューション（株）九州、神戸、茨城、川崎、仙台、青森、札幌各パックセンター
- 沖縄フレッシュパック（株）
- （株）藤栄（2007年度より）

用水使用量の削減対策

- 清掃時には、必要以上に水を流すことがないように、蛇口の開閉をこまめに調整しました。

■用水使用量の推移



廃棄物の削減と有効利用

- 梱包の作業ミスを低減するなど、廃棄物の発生を抑制するとともに、廃棄物の分別を徹底し、リサイクルを進めました。

■廃棄物排出量とリサイクル量の推移

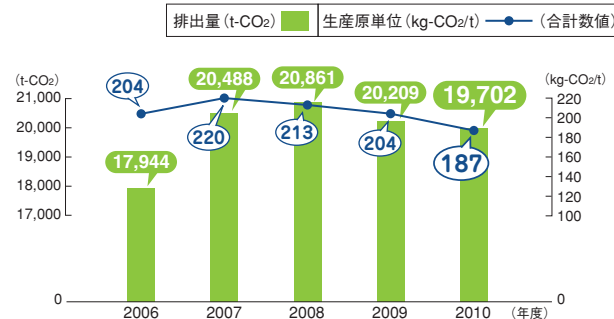


*2008年度より廃棄物の種類の集計範囲を増やしました。

温室効果ガスや水質汚濁物質の排出削減

- 排気ガスや排水は規制値より厳しい自主基準値を定めて管理し、異常の早期発見、迅速な対応を実践しています。

■二酸化炭素（CO₂）の排出量の推移



物流・営業部門

省エネルギー、二酸化炭素排出量削減の取り組み（電力、燃料使用量の削減対策）

- 積み合わせ輸送・混送便の利用、輸送量に応じた適正車種の選択、輸送ルートの見直しなど、輸送効率を向上させました。
- 保有車両の低公害車（低燃費、低排出ガス自動車、アイドリングストップ機能搭載車、ハイブリッド車など）への転換を進めました。
- ドライバーの運転マナーおよびエコドライブ実践意識を向上させるために、エコドライブ講習を実施しました。
- 車両にエコドライブステッカーを貼り付け、従業員の意識啓発を行い、エコドライブの実践を強化しました。

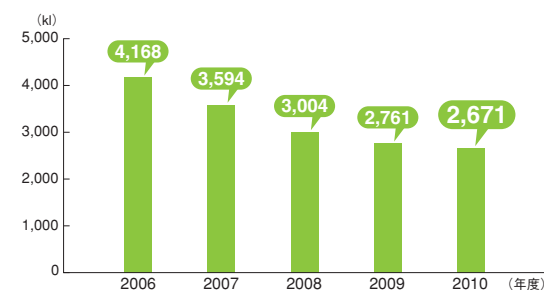


車両の外部（左写真）と車内に貼り付けられたステッカー

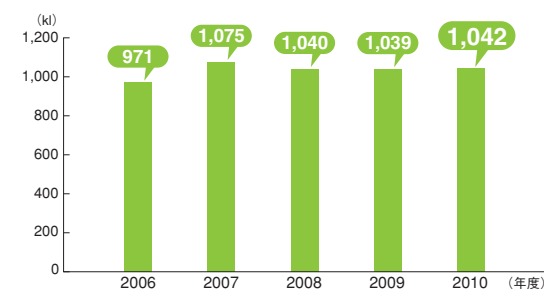


「エコドライブ実施中」ステッカー

■車両燃料（軽油）使用量の推移



■車両燃料（ガソリン）使用量の推移



エコドライブ講習

廃棄物の削減対策

- 過剰在庫とならないように、適正量の発注を心がけ、売れ残りなどの食品廃棄物の発生抑制に努めています。
- サンプルを無駄にしないように、適正量のサンプルを手配するように努めています。

対象範囲

■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、九州営業部、中央研究所 ■伊藤ハムデイリー(株)営業部 ■伊藤ハム販売(株)
■伊藤ハムミート販売東(株) ■伊藤ハムミート販売西(株) ■伊藤ハム物流(株)

オフィス部門

省エネルギーの取り組み（電力、燃料使用量の削減対策）

- クールビズを実施、室温が28℃となるように空調機の温度設定を調整し、節電に取り組みました。
- 省エネタイプの蛍光灯への切り替えを進めるとともに、こまめな消灯を実施しています。
- 会議室など、使用後は、その都度こまめに空調機の電源を切り、節電しています。



クールビズの実施を周知する表示（本社事務所）

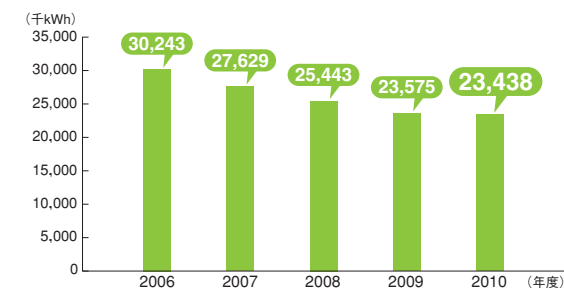
用水使用量の削減

- 給湯室で水を使用する際は、こまめに蛇口を閉めるようにし、節水しています。
- 食器等を洗う際は、洗い桶に水を溜めて洗うようにしています。

グリーン購入

- 文具、事務用紙、事務機器類のグリーン購入に取り組んでいます。

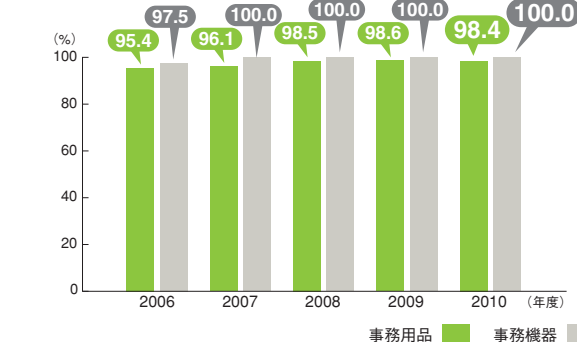
■電力使用量の推移



■用水使用量の推移



■グリーン購入率の推移



対象範囲（電力使用量、用水使用量）

■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、九州営業部、中央研究所、中部LC ■伊藤ハムデイリー(株)営業部 ■伊藤ハム販売(株)
■伊藤ハムミート販売東(株) ■伊藤ハムミート販売西(株) ■伊藤ハム物流(株)

対象範囲（グリーン購入率）

■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所

生物多様性保存への取り組み

- たばこのフィルターなど健康を害するものを小動物が食さないことを願って、事業所周辺や海岸でクリーンアップ活動を展開しています。甲子園浜（兵庫県西宮市）では、海を漂い、海鳥や魚類への悪影響が懸念されるレジンペレット※の回収を実施しました。

※プラスチック製品の中間材料。2～6mmと小さく軽い。本来は自然界には存在しないが、事業場からの漏れ出し、船の荷役作業時等にこぼれたもの、不法投棄等で河川や湖沼、海洋に流出したものと考えられる。なかなか自然に分解されないため、河川や湖沼、海洋に長く漂流する。誤食する鳥や魚もあり、生体に何らかの影響がある可能性が懸念されている。

- 「こうべ森の学校」、「高尾の森づくりの会」に参加し、間伐作業や植樹などの森林保護活動を行っています。



ビーチクリーンアップ活動



森林保護活動

環境会計

2001年度より主要生産工場の環境関連に投入したコスト、投入コストに伴う環境保全効果を集計し、環境

経営に利用しています。前期との比較を容易にするため、前期実績と当期実績および増減値を記載しています。

2010年度環境会計の分析

効率の良いボイラーに更新、脱臭装置の設置、油脂分離回収装置の設置などの投資を行い、環境保全コストの投資額は前年より増加しましたが、廃棄物処理費用などの減少により、環境保全コストの費用額は

前年より減少しました。

環境関連施設の改善、維持管理に関しては、今後も内容を精査しながら対策を進め、効果的な投資を行います。

【環境保全コスト】

(単位:千円)

分 類	主な取り組み内容	投資額			費用額		
		前期	当期	増減	前期	当期	増減
事業エリア内コスト		251,250	382,306	131,055	933,268	885,740	▲ 47,528
公害防止コスト	環境関連施設の改善、維持管理	176,037	330,983	154,946	579,022	605,827	26,805
地球環境保全コスト	省エネルギー設備の設置、対策費用	72,559	19,776	▲ 52,783	76,380	39,184	▲ 37,196
資源循環コスト	廃棄物のリサイクルおよび処理処分費用	2,654	31,547	28,893	277,866	240,729	▲ 37,137
上・下流コスト	容器包装リサイクル法の再商品化委託料等	280	290	10	292,296	262,630	▲ 29,666
管理活動コスト	EMSの構築、環境保全に係る人件費等	440	6,565	6,125	55,355	56,454	1,099
研究開発コスト		0	0	0	0	0	0
社会活動コスト	緑化・その他環境活動費用	245	245	0	9,280	8,120	▲ 1,160
環境損傷コスト	燃料使用にともなう汚染賦課金	0	0	0	1,413	1,434	21
合 計		252,215	389,406	137,190	1,291,612	1,214,378	▲ 77,234

【環境保全効果】

効果の内容	環境パフォーマンス指標 (単位)	前期	当期	原単位調整効果
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (GJ)	2,406,207	2,494,904	▲ 16,511
	電力エネルギー投入量 (GJ)	1,460,285	1,498,283	5,811
	その他燃料投入量 (GJ)	945,922	996,621	▲ 22,322
	用水の投入量 (千m ³)	4,225	4,168	184
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	136,590	141,662	▲ 974
	廃棄物総排出量 (t)	22,660	23,328	12
	廃棄物最終処分量 (t)	23	17	6
	総排水量 (千m ³)	3,803	3,331	586
	BOD排出量 (t)	74	84	▲ 8
その他	SOx排出量 (t)	8	8	0
	容器包装使用量 (t)	6,734	7,558	▲ 622

※指標の値 原単位調整効果:生産原単位を加味した削減効果
【前期投入量(排出量)×(当期生産量/前期生産量)－当期投入量(排出量)】
当期生産量/前期生産量=1.030
※エネルギー投入量は、購入電力、燃料、購入熱(蒸気)を熱量換算した値(GJ)

【環境保全対策にともなう経済効果】

(単位:千円)

効果の内容	総金額	原単位調整金額
収 益		
廃棄物の有価売却による収益	7,082	6,045
費用削減		
省エネルギーによるエネルギー費の削減(電力・燃料・購入蒸気)	▲ 289,554	▲ 196,105
用水に係る費用の削減	▲ 59,972	▲ 46,479
廃棄物処理費の削減	5,911	14,175

※指標の値 収 益:当期収益－前期収益
費 用 削 減:前期に対する費用削減額【前期費用－当期費用】
原単位調整金額:生産原単位を加味した収益【当期収益－前期収益×(当期生産量/前期生産量)】
費用削減:生産原単位を加味した費用削減額【前期費用×(当期生産量/前期生産量)－当期費用】
当期生産量/前期生産量=1.030

環境データ

部門別の環境負荷

部 門	INPUT	事業活動	OUTPUT
生産部門 (ハム・ソーセージ類、調理加工食品等)	エネルギー投入 電力 …… 162,727 千kWh 燃料 …… 24,347 kl 用水 …… 4,269 千m ³ 物質投入 原材料 …… 104,899 t 包装材料 副原料	ハム・ソーセージ類、調理加工食品等の生産 生産量 …… 134,128 t	大気への排出 CO ₂ …… 145,950 t-CO ₂ SOx …… 8 t NOx …… 29 t 水域への排出 排水量 …… 3,436 千m ³ BOD …… 102 t 窒素 …… 24 t りん …… 8 t 廃棄物の排出 総排出量 …… 23,776 t リサイクル量 …… 23,684 t リサイクル率 …… 99.6 %
生産部門 (惣菜、麺類等の調理加工食品)	エネルギー投入 電力 …… 14,917 千kWh 燃料 …… 3,675 kl 用水 …… 593 千m ³ 物質投入 原材料 …… 21,311 t 包装材料 副原料	惣菜、麺類等の調理加工食品の生産 生産量 …… 31,885 t	大気への排出 CO ₂ …… 15,996 t-CO ₂ 水域への排出 排水量 …… 556 千m ³ 廃棄物の排出 総排出量 …… 2,648 t リサイクル量 …… 2,222 t リサイクル率 …… 83.9 %
食肉部門	エネルギー投入 電力 …… 27,838 千kWh 燃料 …… 1,632 kl 用水 …… 859 千m ³ 物質投入 原材料 …… 114,356 t 包装材料 副原料	食肉の処理加工、製造および包装加工等 生産量 …… 105,280 t	大気への排出 CO ₂ …… 19,702 t-CO ₂ 水域への排出 排水量 …… 715 千m ³ 廃棄物の排出 総排出量 …… 21,836 t リサイクル量 …… 19,610 t リサイクル率 …… 89.8 %
物流・営業、オフィス部門	エネルギー投入 電力 …… 23,438 千kWh 燃料 …… 46 kl 車両用燃料 軽油 …… 2,671 kl ガソリン …… 1,042 kl 用水 …… 33 千m ³	製品の物流販売業務全般	大気への排出 (事業所から排出するもの) CO ₂ …… 13,094 t-CO ₂ 大気への排出 (製品の輸送にともなって排出するもの) CO ₂ …… 9,414 t-CO ₂ 水域への排出 排水量 …… 29 千m ³ 廃棄物の排出 総排出量 …… 682 t リサイクル量 …… 175 t リサイクル率 …… 25.6 %

対象範囲

【生産部門(ハム・ソーセージ類、調理加工食品等)】 ■伊藤ハム(株)九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデiyリー(株)東北、小樽各工場
■伊藤ハム食品(株)小矢部工場 ■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場
【生産部門(惣菜、麺類等の調理加工食品)】 ■ロイヤルデリカ(株)本社工場、岡山事業所 ■(株)菊水本社工場、サッポロファクトリー ■(株)大龍
【食肉部門】 ■サンキューミート(株)有明ミート、霧島ミート各工場、ファーム部 ■IHミートパッカー(株)関西、名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター
■IHミートソリューション(株)九州、神戸、茨城、川崎、仙台、青森、札幌各バックセンター ■沖縄フレッシュバック(株) ■(株)藤栄
【物流・営業、オフィス部門】 ■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、九州営業部、中央研究所、中部LC ■伊藤ハムデiyリー(株)営業部
■伊藤ハム販売(株) ■伊藤ハムミート販売東(株) ■伊藤ハムミート販売西(株) ■伊藤ハム物流(株)

環境データ

【2010年度 緊急時の対応訓練】

事業所名	訓練の内容	参加者数
伊藤ハム(株)		
九州工場	薬品漏洩事故防止訓練	3
	汚泥・汚水の漏洩対応訓練	3
	フロンガスの漏洩対応訓練	3
六甲工場	汚泥・汚水の漏洩対応訓練	5
	フロンガスの漏洩対応訓練	6
西宮工場	汚泥・汚水・薬品の漏洩対応訓練	5
	廃油の漏洩対応訓練	17
豊橋工場	フロンガスの漏洩対応訓練	5
	汚水・薬品の漏洩対応訓練	4
	フロンガスの漏洩対応訓練	9
東京工場	重油の漏洩対応訓練	9
	廃油の漏洩対応訓練	4
	汚水・薬品の漏洩対応訓練	4
船橋工場	水道設備停止時の対応訓練	5
	フロンガスの漏洩対応訓練	5
	汚泥・汚水・薬品・廃油の漏洩対応訓練	3

【ISO14001認証取得事業所】

サイト名	認証機関	登録年月
伊藤ハム(株)	西宮工場	日本環境認証機構(JACO)
	東京工場	日本環境認証機構(JACO)
	豊橋工場	日本環境認証機構(JACO)
	六甲工場	日本環境認証機構(JACO)
伊藤ハムウエスト(株)	九州工場	日本環境認証機構(JACO)
伊藤ハムデイリー(株)	東北工場	日本環境認証機構(JACO)
	小樽工場	日本環境認証機構(JACO)
	北陸工場	日本環境認証機構(JACO)
サンキョーミート(株)	有明ミート工場	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	霧島ミート工場	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
IHミートバッカー(株)	統合認証	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
IHミートソリューション(株)	統合認証	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
沖縄フレッシュパック(株)		日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
(株)藤栄		日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
伊藤ハム物流(株)	仙台共配センター	日本品質保証機構(JQA)
ファイブスタービーフ社(ニュージーランド)		SGS International Certification Services Pty Ltd.

【ISO22000認証取得事業所】

サイト名	認証機関	登録年月
サンキョーミート(株)	有明ミート工場	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	霧島ミート工場	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
IHミートバッカー(株)	宮城ミートセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	東京ミートセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	十和田ミートセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	名古屋ミートセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	関西ミートセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
IHミートソリューション(株)	川崎バックセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	神戸バックセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	札幌バックセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	九州バックセンター	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
沖縄フレッシュパック(株)		日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
(株)藤栄		日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
筑紫ファクトリー(株)北九州工場	BSIマネジメントシステム・ジャパン	2009年 3月

【ISO9001認証取得事業所】

サイト名	認証機関	登録年月
サンキョーミート(株)	有明ミート工場	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
	霧島ミート工場	日本海事検定キューエイ(NKKKQA)
ファイブスタービーフ社(ニュージーランド)	SGS International Certification Services Pty Ltd.	2001年 1月

事業所名	訓練の内容	参加者数
伊藤ハムデイリー(株)		
東北工場	汚泥・汚水・薬品の漏洩対応訓練	3
	フロンガスの漏洩対応訓練	5
	重油の漏洩対応訓練	7
小樽工場	汚水・重油の漏洩対応訓練	3
	フロンガスの漏洩対応訓練	3
伊藤ハム食品(株)		
小矢部工場	汚泥・重油の漏洩対応訓練	2
	フロンガスの漏洩対応訓練	2
サンキョーミート(株)		
有明ミート工場	重油の漏洩対応訓練	9
霧島ミート工場	汚水の漏洩対応訓練	7

【エネルギー等使用量の推移】

		合 計				
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電力	総量(千kWh)	226,552	229,108	224,609	224,937	228,920
燃料 ^{※1}	総量(kl)	38,463	32,898	31,187	32,470	33,386
総エネルギー ^{※2}	総量(GJ)	3,395,941	3,434,742	3,353,091	3,445,413	3,533,622
用水	総量(千m ³)	5,732	5,773	5,710	5,798	5,754

		伊 藤 ハ ム				
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電力	総量(千kWh)	140,156	139,460	135,468	138,765	141,582
燃料 ^{※1}	総量(kl)	22,406	19,202	18,122	19,220	19,941
総エネルギー ^{※2}	総量(GJ)	2,057,061	2,059,670	2,005,615	2,120,825	2,187,661
用水	総量(千m ³)	3,774	3,713	3,610	3,530	3,441

		関 連 会 社				
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電力	総量(千kWh)	86,396	89,648	89,141	86,172	87,338
燃料 ^{※1}	総量(kl)	16,057	13,696	13,065	13,250	13,445
総エネルギー ^{※2}	総量(GJ)	1,338,880	1,375,072	1,347,476	1,324,588	1,345,961
用水	総量(千m ³)	1,958	2,060	2,100	2,268	2,313

※1：原油換算 ※2：総エネルギー：熱量換算(購入電力+燃料+購入蒸気)

対象範囲

■伊藤ハム(株) 本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、九州営業部、中央研究所、中部LC、九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場
■伊藤ハムデイリー(株) 東北、小樽各工場、営業部 ■伊藤ハム食品(株) 小矢部工場 ■浅草ハム(株) 関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株) 四日市工場
■筑紫ファクトリー(株) 北九州工場 ■(株)大龍(2007年度より) ■サンキョーミート(株) 有明ミート、霧島ミート各工場、ファーム部
■IHミートバッカー(株) 関西、名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター ■IHミートソリューション(株) 九州、神戸、茨城、川崎、仙台、青森、札幌各バックセンター
■沖縄フレッシュパック(株) ■(株)藤栄(2007年度より) ■ロイヤルデリカ(株) 本社工場、岡山事業所 ■(株)菊水本社工場、サッポロファクトリー
■伊藤ハム販売(株) ■伊藤ハムミート販売東(株) ■伊藤ハムミート販売西(株) ■伊藤ハム物流(株)

【ハム・ソーセージ類、調理加工食品生産工場のエネルギー等使用量の推移】

		合 計				
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電力	総量(千kWh)	158,737	158,893	157,136	160,651	162,727
	生産原単位(kWh/t)	1,242	1,197	1,233	1,217	1,213
燃料 ^{※1}	総量(kl)	27,834	22,840	22,048	23,509	24,347
	生産原単位(l/t)	218	172	173	178	182
総エネルギー ^{※2}	総量(GJ)	2,369,390	2,390,720	2,369,538	2,500,989	2,566,852
	生産原単位(GJ/t)	19	18	19	19	19
用水	総量(千m ³)	4,504	4,470	4,407	4,339	4,269
	生産原単位(m ³ /t)	35	34	35	33	32

		伊 藤 ハ ム				
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電力	総量(千kWh)	132,989	132,158	129,067	131,226	134,356
	生産原単位(kWh/t)	1,242	1,206	1,257	1,233	1,226
燃料 ^{※1}	総量(kl)	22,376	18,630	17,609	18,768	19,521
	生産原単位(l/t)	209	170	172	176	178
総エネルギー ^{※2}	総量(GJ)	1,962,262	1,967,333	1,924,242	2,030,590	2,101,708
	生産原単位(GJ/t)	18	18	19	19	19
用水	総量(千m ³)	3,758	3,697	3,596	3,515	3,424
	生産原単位(m ³ /t)	35	34	35	33	31

		関 連 会 社				
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
電力	総量(千kWh)	25,748	26,735	28,069	29,425	28,371
	生産原単位(kWh/t)	1,242	1,155	1,131	1,149	1,154
燃料 ^{※1}	総量(kl)	5,457	4,210	4,439	4,741	4,827
	生産原単位(l/t)	263	182	179	185	196
総エネルギー ^{※2}	総量(GJ)	407,129	423,387	445,295	470,399	465,143
	生産原単位(GJ/t)	20	18	18	18	17
用水	総量(千m ³)	746	773	811	824	845
	生産原単位(m ³ /t)	36	33	33	32	34

※1：原油換算 ※2：総エネルギー：熱量換算(購入電力+燃料+購入蒸気)

対象範囲

■伊藤ハム(株) 九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株) 東北、小樽各工場 ■伊藤ハム食品(株) 小矢部工場
■浅草ハム(株) 関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株) 四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株) 北九州工場 ■(株)大龍(2007～2009年度)

環境データ

【二酸化炭素(CO₂)の排出量の推移】

(単位:t-CO₂)

	合 計				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
排出量 (t-CO ₂)	200,377	199,638	194,878	199,571	204,156

	伊 藤 ハ ム				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
排出量 (t-CO ₂)	111,771	115,573	112,716	118,760	122,508

	関 連 会 社				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
排出量 (t-CO ₂)	88,606	84,065	82,162	80,811	81,648

対象範囲

■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、九州営業部、中央研究所、中部LC、九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場
■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場、営業部 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場 ■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場
■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■(株)大龍(2007年度より) ■サンキョーミート(株)有明ミート、霧島ミート各工場、ファーム部
■IHミートパッカー(株)関西、名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター ■IHミートソリューション(株)九州、神戸、茨城、川崎、仙台、青森、札幌各バックセンター
■沖縄フレッシュパック(株) ■(株)藤栄(2007年度より) ■ロイヤルデリカ(株)本社工場、岡山事業所 ■(株)菊水本社工場、サッポロファクトリー ■伊藤ハム販売(株)
■伊藤ハムミート販売東(株) ■伊藤ハムミート販売西(株) ■伊藤ハム物流(株)

【ハム・ソーセージ類、調理加工食品生産工場の二酸化炭素(CO₂)排出量の推移】

(単位:t-CO₂)

	合 計				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
排出量 (t-CO ₂)	137,371	135,970	135,115	142,208	145,950
生産原単位 (kg-CO ₂ /t)	1,075	1,024	1,060	1,077	1,088

	伊 藤 ハ ム				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
排出量 (t-CO ₂)	111,771	110,106	107,905	113,465	117,472
生産原単位 (kg-CO ₂ /t)	1,044	1,005	1,051	1,067	1,072

	関 連 会 社				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
排出量 (t-CO ₂)	25,600	25,864	27,210	28,743	28,478
生産原単位 (kg-CO ₂ /t)	1,235	1,117	1,096	1,122	1,158

対象範囲

■伊藤ハム(株)九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場
■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■(株)大龍(2007～2009年度)

【フロンガス(HCFC-22)排出量の推移】

(単位:kg)

	合 計				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
HCFC-22	4,765	4,091	3,328	3,911	3,695

対象範囲

■伊藤ハム(株)九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場 ■伊藤ハム食品(株)小矢部工場
■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■(株)大龍(2007～2009年度)

【グリーン購入の推移】

対象品目			グリーン購入の割合 (%)				
			2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
事務用品 (金額ベース)	文具類	筆記具、ファイルなど	93.1	95.2	95.4	96.4	96.8
	紙類	コピー用紙、コンピューター用紙など	94.0	93.9	98.8	99.2	99.6
	合計		93.8	94.2	98.1	98.5	98.9
事務機器 (数量ベース)	OA機器類	パソコン、コピー機、ファクシミリなど	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	オフィス家具類	事務用机、椅子、OAテーブルなど	94.3	100.0	100.0	100.0	100.0
	合計		98.0	100.0	100.0	100.0	100.0
その他	照明器具類	ランプ、蛍光灯器具など	64.8	71.2	76.9	78.8	88.4
	制服類	作業着など	98.3	98.2	96.8	98.6	98.6

対象範囲

【2007～2010年度】 ■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場
■伊藤ハム食品(株)小矢部工場 ■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場
■(株)大龍(2009年度より)
【2006年度】 ■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、九州、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、船橋各工場 ■伊藤ハムデイリー(株)東北、小樽各工場
■伊藤ハム食品(株)小矢部工場

環境保全活動の沿革

年 月

弊社の主な取り組み内容

1965年

・廃水処理設備の導入開始

1973年

・都市ガス燃料ボイラーの導入開始

1991年

・生産各工場に「環境管理室」を設置

1993年

・生産事業本部に「環境安全担当」を設置

1994年

・大型ボイラーから小型ボイラーに更新し環境負荷を低減

1998年

・営業車両に天然ガス(CNG)自動車の導入開始(業界初)
・「環境担当役員」を選任、「環境安全推進室」を設置
・全社的な環境活動推進組織「環境委員会」を設置
・「環境委員会・生産部会」「工場環境会議」を設置

1999年

・「環境基本方針」を制定
・東京工場が廃棄物計量システムを初めて導入

2000年

・西宮工場、東京工場、豊橋工場がISO14001を認証取得
・環境監査実施基準を策定し、全社的に環境監査を開始
・環境報告書を初めて発行
・ホームページの「伊藤ハム環境保全活動の取り組み」を開設

2001年

・ニュージーランドのファイブスタービーフ社がISO14001を認証取得
・六甲工場がISO14001を認証取得
・中期経営計画において環境活動3ヵ年計画を策定
・グリーン購入基本方針制定
・生産工場を対象に環境会計を導入
・西宮工場で都市ガスによるコージェネシステムが稼働

2002年

・九州工場、サンキョーミート(株)有明ミート工場・藤栄ファーム事業部・霧島ミート工場がISO14001を認証取得
・環境基本方針の「環境行動指針」を一部改定
・環境推進組織「生産部会」の下に「省エネ対策専門会議」を設置
・九州工場、豊橋工場、伊藤ハムデイリー(株)東北工場でコージェネシステムが稼働
・コンプライアンス・ハンドブックを従業員に配布
・日本食糧新聞社の「環境資源協力賞」を受賞
・社会貢献活動理念と活動方針を策定

2003年

・「社会貢献推進期間」を設定し、全国の事業所で社会貢献活動の取り組みを開始
・「クリーンアップin甲子園浜」(初めての自主企画)を実施
・こうべ市民演習林の名称が「こうべ森の学校」と決定し、本格的な森林保護活動がスタート

2004年

・デイリー物流(株)(=現・伊藤ハム物流(株))、伊藤ハムデイリー(株)東北工場がISO14001認証取得
・全国農林水産関連企業環境対策協議会より感謝状を受賞
・平木小学校(西宮市)において環境学習「出前授業」を初めて実施

2005年

・自然保護をテーマにした「“食とeco”わくわく探検隊」を初めて実施(春・秋)

2006年

・伊藤ハムデイリー(株)小樽工場がISO14001を認証取得
・社会貢献活動「環境学習都市にのしみやパートナーシッププログラム事業」(「“食とeco”わくわく探検隊」と「クリーンアップin甲子園浜」の2つのイベント)に
対し西宮市長より感謝状を受賞
・伊藤ハム食品(株)小矢部工場(=現・伊藤ハムデイリー(株)北陸工場)がISO14001を認証取得
・「ハム工場を学ぼう」を初めて実施
・九州工場、豊橋工場、伊藤ハムデイリー(株)東北工場の
重油を燃料とするコージェネシステムを廃止

2007年

・「環境委員会 物流・オフィス部会」を設置

2008年

・「環境委員会 食肉生産部会」を設置
・食育イベント「スマイルキャラバン」を実施

2009年

・西宮工場で「太陽光発電設備」が稼働

2010年

・(株)藤栄、沖縄フレッシュパック(株)、IHミートパッカー(株)、IHミートソリューション(株)がISO14001を認証取得





「2011年 CSR報告書」アンケート

● ご意見・ご感想をお聞かせください。 ●

伊藤ハム株式会社
CSR本部 環境安全推進課 行き
〒663-8586 兵庫県西宮市高畑町4番27号
FAX 0798-66-3391

Q1. 本報告書をお読みになったのの評価をお聞かせください。

- | | | | |
|--------|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ● 内容 | ☐ 分かりやすい | ☐ 普通 | ☐ 分かりにくい |
| ● ページ数 | ☐ 多い | ☐ 適当 | ☐ 少ない |
| ● デザイン | ☐ 良い | ☐ 普通 | ☐ 悪い |
| ● 活動項目 | ☐ 充実している | ☐ 普通 | ☐ 不足している |

Q2. 本報告書の中で、興味を持った内容についてお聞かせください。(複数回答可)

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------|------------------|---------------------------|--------------------|--------------|-----------------|-------------------|------------|-------------------------|----------|-----------|---------------|
| 会社基本項目 | 1) 会社概要 | 2) ごあいさつ | | | | | | | | | | |
| マネジメント | 3) 社是、経営方針 | 4) コンプライアンス | | | | | | | | | | |
| 消費者の皆様とともに | 5) 安全・安心への取り組み | 6) お客様の声の反映 | 7) 食育 | | | | | | | | | |
| 株主・投資家様とともに | 8) 企業情報開示・IR活動 | 9) 開かれた株主総会を目指して | 10) 株主優待制度 | | | | | | | | | |
| 社会貢献活動 | 11) 社会貢献活動の取り組み | 12) ユニセフ支援活動 | 13) ボランティア支援活動 | 14) 自然環境保護活動 | 15) 地域社会貢献活動 | | | | | | | |
| 従業員とともに | 16) 人材の育成・雇用 | 17) 労働安全衛生 | 18) 健康管理 | | | | | | | | | |
| 環境保全活動 | 19) 環境宣言 | 20) 環境負荷の全体像 | 21) 第4次中期環境目標の取り組み結果と自己評価 | 22) 2010年度の活動ハイライト | 23) マネジメント | 24) 環境負荷低減の取り組み | 25) 生物多様性保存への取り組み | 26) 環境情報開示 | 27) 従業員教育・地域とのコミュニケーション | 28) 環境会計 | 29) 環境データ | 30) 環境保全活動の沿革 |

Q3. 弊社の社会活動についてどのようにお感じになりましたか。

- 1) 非常に評価できる 2) 評価できる 3) 普通 4) あまり評価できない
5) 全く評価できない [その理由: _____]

Q4. 弊社の社会活動について期待されることは何ですか。

.....
.....

Q5. 弊社の環境保全活動についてどのようにお感じになりましたか。

- 1) 非常に評価できる 2) 評価できる 3) 普通 4) あまり評価できない
5) 全く評価できない [その理由: _____]

Q6. 弊社の環境保全活動について期待されることは何ですか。

.....
.....

Q7. 本報告書をどのようなお立場でお読みになりましたか。

- ☐ お客様 ☐ お取引先 ☐ 製品の購買で担当者 ☐ 株主 ☐ 金融・投資機関 ☐ 研究・教育機関 ☐ 報道関係
☐ 行政関係 ☐ 環境NGO・NPO ☐ 伊藤ハムグループ事業所の近隣にお住まいの方 ☐ 学生 ☐ 環境の専門家
☐ 企業の環境・CSRで担当者 ☐ その他(_____)

Q8. 本報告書の内容や社会活動、および環境保全活動に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

.....
.....

ご協力ありがとうございました。

お答えいただきましたアンケートは、個人情報を除き統計データとして利用させていただきます。

個人情報に関しましては、ご希望により次年度の「CSR報告書」の発送にのみ利用し、

ご本人の承諾がない限り、第三者に開示することは一切ありません。

お名前			性別	男・女	年齢		ご職業・勤務先	
ご連絡先	ご住所	〒						
	TEL							

● 次年度の「CSR報告書」の送付を希望されますか? ☐ はい ☐ いいえ

「2010年CSR報告書」アンケート結果について

伊藤ハムグループ「2010年CSR報告書」（2010年11月発行）のアンケートに多数お答えいただき、誠にありがとうございました。皆様からお寄せいただきました貴重なご意見・ご感想は、環境保全活動やCSR報告書の制作に活用させていただきました。今年度も裏面に「2011年CSR報告書」アンケート用紙となっております。本報告書を読まれてのご感想や気づきの点などございましたら、ご記入のうえご送付いただければ幸いです。皆様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考にさせていただきます、CSR活動の取り組みや情報開示を進めてまいります。

2011年12月

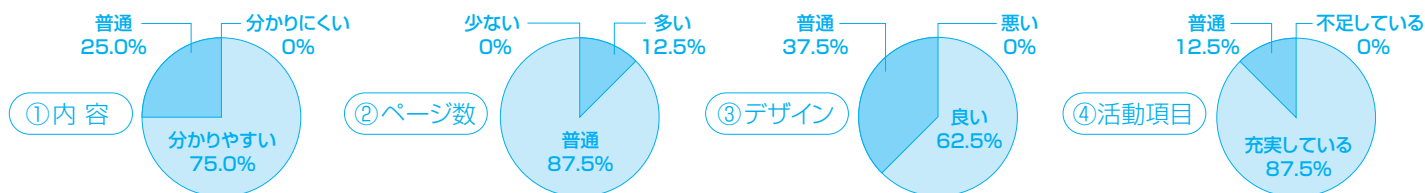
伊藤ハム株式会社 CSR本部 環境安全推進課

〒663-8586 兵庫県西宮市高畑町4番27号

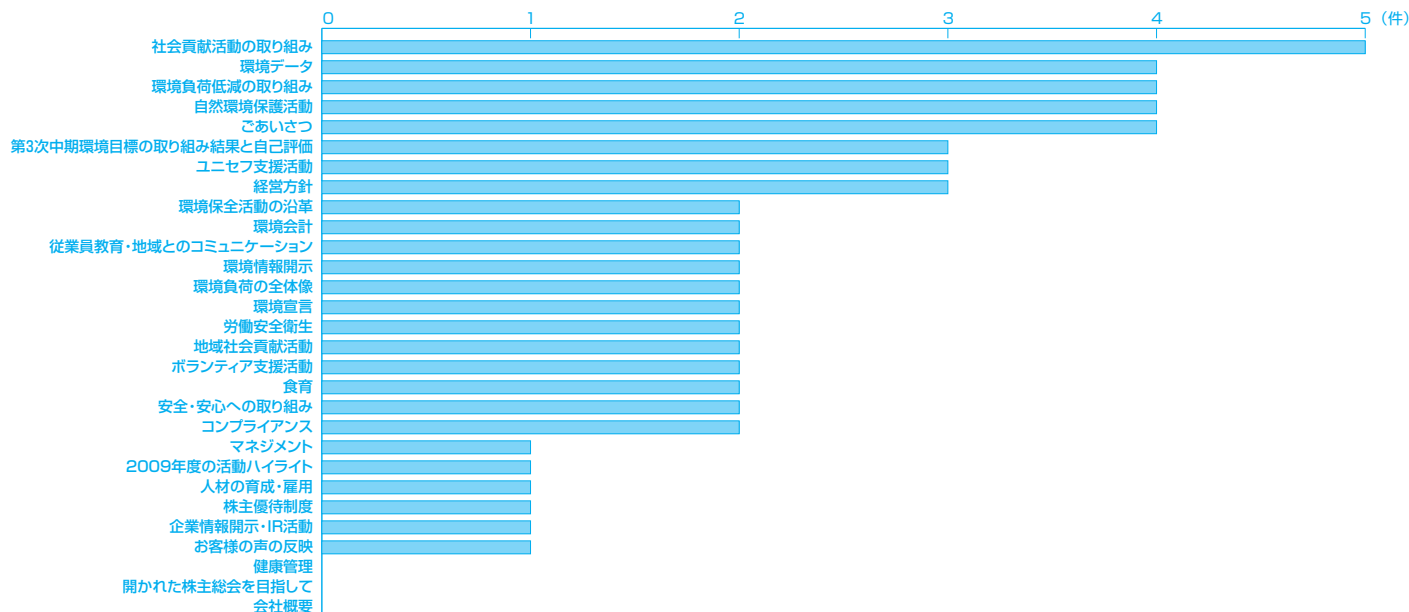
TEL: 0798-66-1289 FAX: 0798-66-3391

「2010年CSR報告書」アンケート集計結果（回収数8通）

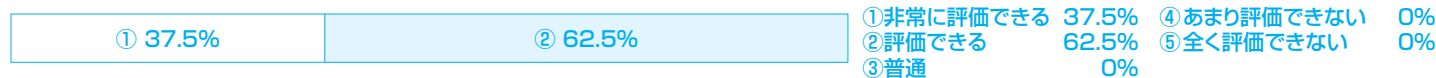
1. 「2010年CSR報告書」の評価グラフ



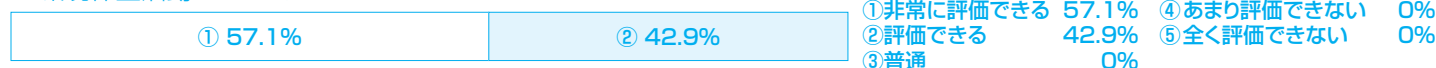
2. 「2010年CSR報告書」の中で興味を持った内容（件数:回答総数8件の内訳）



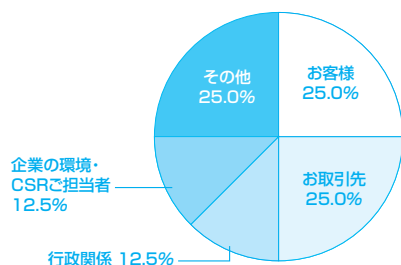
3. 社会活動について



4. 環境保全活動について



5. 「2010年CSR報告書」をどのようなお立場でお読みになられていますか。



6. 「2010年CSR報告書」や環境保全活動、社会活動についてのご意見の一部をご紹介します。

- 企業は株主のためにあると思うが、広い範囲に精力的に活動しておられることに敬服します。行政を引き込むように努力してください。行政の利用、活用が良いと思う。
- 写真やグラフ、図表など充実しており、とても読みやすかったです。各ページのQ&Aもとても分かりやすかったです。さまざまな活動を通じて伊藤ハム様の企業一丸となったCSRに対する姿勢を学ばせていただきました。ありがとうございます。
- 毎年、充実してきて楽しく見させていただきました。ありがとうございます。
- 取引関係の周辺企業へもISO14001などの取得を尋ねてはどうでしょうか？ ISO14001は、費用がかかりすぎるのなら環境省のエコアクション21ですと、費用は1/5～1/10とわかりません。研究することをおすすめします。
- タンザニアの支援活動はすばらしい。デンマークや北欧で広がる「森の幼稚園」を他の事業者や保育園・幼稚園などと協働で運営できればと思います。食育と森林環境教育を同時にできます。



社会活動、環境保全活動などについてのお問い合わせ先

伊藤ハム株式会社
CSR本部環境安全推進課
〒663-8586 兵庫県西宮市高畑町4番27号
T E L : (0798) 66-1289
F A X : (0798) 66-3391
U R L : <http://www.itoham.co.jp>
E-mail : eco@itoham.co.jp
発行 2011年12月



表紙について

初春に東北地方を襲った大震災とそれに伴う原子力発電所の壊滅によって、私たちは改めて自然の脅威と人間がつくった恐怖を知ることになりました。とりわけ長期にわたる放射能の影響は、私たちの命の源である食物から安全を奪おうとすらしています。そんな時代だからこそ、「食」を担う企業として伊藤ハムグループは、皆様の食卓にお届けする製品の厳しい品質管理に留まらず、環境保全や社会貢献、食育など、さまざまなステージで未来のビジョンを描きながら、多角的に人と地球の健康を守るお手伝いをしていきたいと考えています。

次回発行予定 2012年9月